京城日報

ゾラ原作 ◉井上勇譯 全一卷 定價各一圓八十錢 書留送料十五錢

忽 三版

發賣禁止を辛ふじて免れたる大傑作

ゾラ傑作 全譯 制作

抹消に抹消をなして漸く發賣禁止の難を免れたる本書はゾラが渾身の心血を注ぎたる大力作たると共に殊更に江湖の注目を集め異常なる歡迎を受けつゝあり 實に本書はセザンヌ、フロオベル等をモデルとして十九世紀佛國藝壇の裏面を描き妖婉悲絶何人をも魅了せしめずんば止まず 內容の一部…傷しい夕べの狂死が迫つた夜、妻は眞の裸體になつて畫像と美を爭ひた露出しい生々しい身體の一部を見せて紅い唇を突き出し『妾は生きてる』と叫び……全身を彼の肌にぴつたりと

最新刊 童謠界の新明星

童謠 山の母

西條八十作詩 草川信作曲

今や日本文化史に童謠時代を劃する時、更に藝術の境地は童謠作曲の上に開かれた樂壇の新明星たる草川信氏多年の苦心と異常なる藝術的良心を傾けて作曲せられたる本童謠集は斯界の大家西條氏の傑作の傑作とも云ふべき神品のみを集めたるものにして節上更に光彩を放つの觀あらん渾然珠玉の如き妙曲日本童謠の精髓正に音樂に玄學に教育に干興するものをして愛讀措かざらしめん

四六倍版頗優美 譜及插繪入 定價金一圓 送料十二錢

雜草の中

吉田絃二郎著 恩地孝四郎裝幀

一擧にして十版眞に飛ぶが如き賣行き也!!

愛憐の胸を痛めつゝ、滿眼の涙を以て迎へらるゝ吉田先生最近の感想集にして藝術味に、宗教味に哲味時情に横溢せる『武藏野の中から』『移轉』に至る十八篇を收む

四六版上製頗美 定價金壹圓四拾錢 送料金八錢

最新刊

迷へる移民

辻隆政八著

同胞七千萬に訴ふ 十萬の聲を聲け!!

著者は外國殊に加州に在住して十七年、排日の推移と其の現狀を說き善人に告ぐるに米國の眞實なる狀況と我在留民の實情を以てし我國民の喚起を促すと同時に將來の渡米者に對し克く其處る處を知らしむ移民の一族は勿論我國民の必ず一讀すべき新著として江湖に推獎す

定價一圓二十錢 送料十三錢

東京牛込 橫寺町 聚英閣 振替東京八六九七 電話番町四六二番

最新刊

東京高等工業學校教授 理學士 文學士 梶島二郎氏著

非ゆうくりっど幾何學

菊判上製本函入全一册 定價金參圓 送料金拾八錢

既に百年前に彼のボリアイが我新幾何學を五輪の層塔に比すれば在來の幾何學は單に紙製の家屋に過ぎないと喝破してから非ユウクリッド幾何學の名稱は廣く世人の知悉する所であるに拘らず其內容の知られて居ないのは一は在來の幾何學の先天的確實性を過信する謬見と一は斯學の比較的難解なるに依るものであらうか。本書は此點に鑑み極めて平易に總說し次に非ユウクリッド幾何學の內容の大體系の敍述を試みた。[illegible] 研究者に限らず現代思想界の新しき傾向に共鳴する一般讀者諸君の切に要する名著である

◆ローレンツ微分積分學 理學士 山田光雄氏譯 定價金二圓十錢 送料金十四錢
◆增訂四版 物理學通論 本多博士 川北學士 共著 定價金八圓 送料金弍十四錢
◆訂正五版 代數學精要 理學士 宮本久太郎氏著 定價金五圓 送料金十八錢
◆應用數學 理學士 池山芳郎氏著 定價金二圓八十錢 送料金十八錢
◆增訂五版 書き換へられたる物理學 理學士 竹內時男氏著 定價金壹圓 送料金拾弍錢
◆アインシュタインと其思想 理學士 竹內時男氏著 定價金壹圓 送料金拾弍錢
◆量子論 理學士 竹內時男氏著 定價金壹圓 送料金拾弍錢
◆電子 理學士 竹內時男氏著 定價金九拾錢 送料金拾錢

發行所 東京市日本橋區大傳馬町二丁目 振替口座東京壹貳四六番 內田老鶴圃

大日本地名辭書

文學博士吉田東伍先生著

大日本地名辭書縮刷版發行!

前後十六年間に集積した永世不磨の一大金字塔

著者は如何なる努力を以て、この永世不朽の大著述を完成し得たか。出版當時から驚歎の聲を以て迎へられた本書は、國民が文化の研究に目覺めた今日、いよ／＼學界の權威と瞻仰せられて、今や各方面の個人團體からの要求は引きも切らぬ有樣である。如何にせん、重版に重版を重ねた原版は大部分磨滅してその用を爲さず、久しく絕版となつた儘で、市內の古本相場として、際限なく奔騰せしめたのであつた。よつて今回巨資を投じて全部を寫眞凸版とし、四六版二倍の原書を、約半分の菊版に改めたのである。從來の本よりは取扱にも便利であるし、印刷の精巧に於ては現今の技術の最高限を示してゐる。本書が史的研究の資料といふばかりでなく、日常の實際生活に緊切な事は首卷の索引一冊を見ただけでも首肯される。今回の縮版刊行が多數の人々の多年の渴望を醫し又學術界、實世界の上に多大の光明と利便とを與へることは疑のないことである。大小如何に關らず、文庫といふ文庫に、本書一部の備がないのは、文庫としては最も著しい缺陷の一つであらう。

發行の順序

首卷＝汎論・索引(本年九月發行)
第一卷＝上方……(本年十一月發行)
第二卷＝中國・四國・西國(本年十二月發行)
第三卷＝北國・東國(十二年二月發行)
第四卷＝坂東……(十二年三月發行)
第五卷＝奥羽……(十二年五月發行)
第六卷＝北海道・樺太・琉球・朝鮮……(十二年六月發行)

全七卷

本篇──全六冊
索引──全一冊

全六千二百餘頁

以上の順序で發刊し配本の豫定ですが出版の前後する場合も生じませうから豫め御承引をねがつておきます

特價金五拾五圓

定價六拾圓

送料

首卷は金二十三錢(第四種書留)
1—6まで各冊書留小包金二十七錢
臺灣・樺太・朝鮮・滿洲 各冊──金五十五錢

月賦拂方法

申込金五圓 即時拂込
(書籍代に通算す)
以上每月金五圓宛＝本年十月より大正十二年七月まで＝十回に拂込むこと

送本

第一回 第二回 第四回 第六回 第八回 第九回 第十回目着金の都度とす

送料は上記月賦金拂込とともに御同送くださいた

內容見本贈呈

我國文獻ありて以來の最大著作!

東京神田 合資會社 冨山房 (振替東京五〇一)(電話神田二〇一四・三七六〇)

▲無代進呈受驗者必讀の雜誌

大好評 入學の秘訣 受驗タイムス

中學高女實業入學希望者は A號 師範入學准教員檢定希望者は B號 と申込め 新聞名記入申込め 懸賞試驗問題あり

東京市神田區小川町四十一番地 大日本受驗研究會

測量家養成講習錄

規約式通信教授にて測量技術の一般を授け滿三ヶ月修了の講習生を募集す 東京市京橋區南傳馬町 通信工手學校

職業

一日一圓以上三圓まで(特約) 男女自宅で何人も出來る內職 年中無休 見本品付說明書郵券十錢を要す 東京市牛込區山吹町二九五 平井商會

赤い鳥

十一月號 ▼童謠、童話、少年劇 ▼兒童音樂の最高權威

▼犬(童話)……鈴木三重吉
▼山から來た馬(童謠)……北原白秋
▼店さき(繪畫)……清水良雄
▼鰐(童話)……小野浩
▼髑髏の歌(童話)……宮原晃一郎
▼村の靴屋(少年劇)……久保田万太郎
▼秋と學期(自由詩評)……北原白秋
▼けんくわ(綴方選)……鈴木三重吉
▼自畫像(自由畫選)……山本鼎
▼我儘太郎(童話)……宇野浩二
▼鳥の巣(作曲)……弘田龍太郎
▼遺傳の話(兒童科學)……內田亨
▼原動力と太陽(兒童科學)……水野靜雄
▼ファンション(童話)……鷲永[illegible]
▼日本を(國史童話)……鈴木三重吉

東京市外高田町目白 赤い鳥社發行 振替東京貳九四壹六 送料共卅壹錢

習字初学ちかみち

第四回新學期

かな專習講義錄

總裁 小野鵞堂 顧問 大家數名 會長 神郡晚秋

內容 鵞堂流かな專習便字崩方 楷書手ほどき手紙と習字

見本進呈 六ヶ月卒業

東京四谷左門町十 大日本かな專習會

寫字員募集

男女自宅机上簡易出來遠近不問收益多高尚詳內案細書無代進呈 大阪南區阿部野筋二丁目 三友社

★名刺 各地印刷所にあり 東京馬喰町二 櫻井大二郎商店製

最新刊

中西新兵衛 諭誤謬發見と試驗表活用法 一、一〇〇
小山內薰 第一の世界 一、一〇〇
葛西善藏 哀しき父 二、〇〇
第二版 豫約募集 寛政重修諸家譜 全九冊 九四、五〇〇
縮刷版 大日本地名辭書 全七冊 五七、七五〇
第五版 近世大辭典 全四冊 五七、七〇五
五句索引 國歌大觀 全二冊 二六、五〇〇

京城 大阪屋號 本局電話 六八四、二〇八六

拾円の反物も五円で

何ぜ十圓の反物も五圓で買へるかと云へば [illegible]

● 純絹糸織 壹反 八圓七十錢
○ 伊勢崎銘仙 反 七圓九十錢
● 斷切大島 反 五圓九十錢
○ 紡績絣 反 三圓拾錢
● 節糸銘仙 反 五圓九十錢
○ 金紗御召 反 十二圓
● 絹大島絣 反 九圓五十錢
○ 特許大島絣 定價 十八圓

純綿大島絣 定價 特上 十六圓五拾錢

改良絹大島絣 (特價品) 定九圓

守用銘仙 一五反一組 拾圓

男女別年齡を記し申込次第引換小包で送る御氣に召さぬものは御取換又は返金に應ず

足利市 合同織物商會 振替東京四三〇七番

豫約募集

アインスタイン全集

編譯者 石原純、山田光雄、遠藤美壽、阿部良夫

萬雷の一時に落下する如き大音響を我社會に與へた本全集の豫約募集は出版創始來の好果を收めつゝある、〆切期日は刻々として迫つて來ましたから此好機を逸せず即刻申込んで下さい

地球が廻轉しない限りニュートン萬有引力論は永劫不變のものと思はれた。地球上の幾十億の人々は彼の理論に培養されて來た、我々もその因襲に囚はれて來た。されど其權威はアインスタインの相對性理論にて悉く破壞された。政治、哲學、理學を論ぜんと欲する者はこの大眞理の發見に刮目凝視せよ。此理論を解せずしての政治はなく、哲學はなく、理學もない、此理論こそ我々人間が永劫に把握すべく信賴すべき唯一の炬火である。近來讀者が微弱なる反對論を試みるものあるも此は蟷螂の斧、敢えて意に介するに足らず。

略規

冊數＝全四冊。申込金＝五圓(但し申込金は最終の冊の拂込金に充當す) 拂込金＝(甲)分拂＝一冊同金[illegible](乙)一時拂＝金十九圓(申込金不要、四冊分)以上[illegible]外に送料を要す、詳細は內容見本にあり 各學校圖書館等の會計規則に依る[illegible]

〆切十月三十一日限

內容見本進呈(ハガキにて申込次第)

東京芝區愛宕下町 改造社 振替東京八四〇二

算術の新しき覺え方

注意◉本書は全國の各大書店にはある筈ですが萬一品切の時は直接御注文下さい

◉本書は算術科の試驗問題に選ばるゝものを悉く集め之にそれ／＼解き方を施しました

發行元 東京麻布區材木町 開光館(振替東京二四三九五)

大賣捌所 東京日本橋區大傳馬町 文林堂(振替東京一〇六〇)

秋が來た!!! 『最新刊』

(中學校・高等女學校・其他の諸學校) 入學試驗の準備に最も適した書 ●勉學自習の時!!!

仁科重男編 縱四寸三分 橫二寸九分 百五十頁 紙質製本堅牢 ▼定價壹圓 普通送料八錢 代金引替送料十八錢

暖房と換氣 溫度濕度調整法

阪田工學博士序◇柳町政之助著 前篇四圓 後篇五圓 送料各十八錢

空氣溫度濕度調整に關し最新の換氣暖房裝置を詳說し各種の製作工業に及ぼす影響と之が利用、適の判斷及び生產能率の增進と品質の向上とを詳細に說明せり

發行所 東京小石川表町一〇九番 振替小二〇四〇 大日本工業學會 丸善本支店東京堂文泉堂北隆館其他各書店

鐵筋コンクリート家屋構造

東京高等工業學校教授工學士 土居松市著

特價六圓 定價八圓 送料內地金拾八錢 滿鮮金五拾五錢

著者は三年の日子を要し此空前の大著を公にせり ●實例寫眞 ●表數十葉入

機械工場用 金屬材料

河合匡著 ▼信用無限の名著◇拾月廿日限最終特價發賣

▲著者は金屬材料の權威也、現に歐米に派遣せられて同その研究を極む
▲本書は外國書の飜譯にあらず、一々實驗の材料にて實際的價値を有す
▲工場と工業とにて本書を離るゝ事能はざるものなし
▲此の機會を逸せず速に本書を求められよ書店になき時は直接申込あれ

ロ氏の政治的運命

【倫敦十七日發電】ロイド、ジョージ氏の政治的運命は十月十九日の統一黨議員會議にて決定さるゝならん統一黨の首領チエンバーレン氏は全力を盡してロイド、ジョージ氏を支持せしむる樣努力するならん然し新聞紙は辛辣なる首相攻撃の筆を罷めずロイド、ジョージ氏は本日自由黨會議を召集せるが是は彼れが有ゆる政黨と共に其進退を決する爲めなり

ロ氏近く辭職せん

【倫敦十七日發電】ロイド、ジョージ氏に對する攻撃は各新聞紙とも止まず統一黨首領チエンバーレン氏は全力を擧げてロ氏を援助し居れりロ氏は近く辭職するならんと信ぜらる

英議會解散されん

【倫敦十七日發電】デーリーメール及びニユータイムスは議會は今週中に解散され總選擧は十一月十七日を以て行はるゝならんと云へり

米國が要する陸軍力

【華盛頓十六日發電】米陸軍卿ウイークス氏及參謀總長ヘージング將軍は大統領ヘーヂング氏に對し國家的軍事政策に關する意見を述べて曰く國家的軍事政策は少くとも將校一萬三千名兵卒十五萬人以上の陸軍に依つて支持せざるべからず現在の將校一萬二千兵卒十二萬五千名にては不充分なりと

支那裁兵會議要項

【上海十七日發電】外交部の華盛頓會議善後委員會は十六日特別會議を開き裁兵大綱十ケ條を議決せり其重要なるものは左の四項なり

一、軍備は常備豫備制を採用す常備兵は二十師と定む
二、裁兵方法は全國裁兵委員會を設け三期に分ち裁兵す
三、裁兵旅費及善後費用として三千萬元を經常し別に各種の勞働事業を準備す
四、將校を養成する方法として軍官研究所を設く

浦鹽愈陥落か

齊多軍尼市を占領して迫り　浦鹽政權幹部亡命の準備す

【東京電報】共勵社電＝ヂトリックス軍は十四日イリスク附近迄退却し徴兵及び軍資金徴達に努力せるがニコリスク市民は市街戰を避くる爲め齊多軍の入市を歡迎すとの決議せるを以てヂ軍は十五日浦鹽に引揚げたヂ軍は二十日自然消滅し齊多軍は浦鹽郊外に現るべしと觀測さる故に浦鹽政權主腦部は亡命準備を爲し國立銀行は十四日より金引出を拒絶せり又武官連は官有財産を船に積込みて出帆を急ぎ居れり浦鹽勞働者商工業者組合人夫約一萬四千人は戰亂の起る時は各部署に竄き治安維持に努むべく結束し居れりヂ軍が浦鹽に引揚げし動機はニコリスク市の有力者の勸告に因るものなり情報に依れば愈最後の場合はヂトリックス軍は海路ポセツト方面に引揚る筈にして浦鹽政權の有力者は哈爾賓方面に行く仕度なし居れりヂトリックス將軍は十六日附命令を發し浦鹽に踏りしならばスタルク將軍は海軍司令の本職に服せしめ總ての機關はヂトリックスの手に直屬する事を命じ他の機關は十六日以後全部事務中止を命じたり一面ニコリスク市はヂ軍の引揚に依り十五日午後四時齊多軍の手に歸したり浦鹽を中心とする電信電話は杜絶し政府關係者の恐慌甚だしく各官署は全く事務を廢し居れり

帝國軍艦派遣要請

【東京電報】浦鹽は愈齊多軍の侵入により治安紊亂の虞れあるにつき居留民の生命安固を期する爲に松村總領事より軍艦の派遣方を求め來れり目下同港には日進艦の外驅逐艦二隻警備中なり

押收武器引渡條件

【東京電報】浦鹽押收武器は日本軍の撤退と共に自衞團に引渡す手續中なるが引渡しに關し嚴重なる條件と共に外交上の見地よりして左の條件を併せて附加する筈

自衞團に武器引渡しをなすも其保管權を移轉するに過ぎず又自由に處分する權利を日本政府が認めしにあらざれば之を嚴重に保管し散逸を防止する責任を自衞團が負はざるべからず保管するに當り將來國際事件紛擾を惹起するが如き事端を釀し迷惑を及ぼさゞる樣努むるを要す尚武器引渡しに關し日本政府は止むを得ず從來の態度を採りたる次第を明かにする爲め聲明書を公表する筈

武器引受拒絶

浦鹽市會　日本軍司令部御用船に移る

【浦鹽十八日發電】ヂトリックス以下浦鹽官吏の亡命出發の期日は二十日に決定せり尚十七日浦鹽市會は一切日本軍より武器の引渡しを受くる事を拒絶するに決したり十八日日本軍司令部は立花司令官と共に御用船內に引き移れり

獨逸賠償輕減問題

佛の位置は倫敦會議後變らず

[illegible]

希臘軍再び組織さる

首席が休戰提議を承認せるも

[illegible]レースから退却せしむる爲に各地方に向け列車を急送し居れるが實は[illegible]憂慮せる反政府側の司令官等が軍隊をスレースに向け輸送しつゝ[illegible]

[illegible]るものが惡戰によつて輸入されつゝあるものにして是は押收武器の殘か[illegible]

黎總統記者團會見

【北京電報】十七日午後黎總統は日本新聞記者と會見し次の如く語れり

裁兵問題　裁兵監督は服職當時聲明せる通りにて目下實現の爲めに努力しつゝあり

內閣問題　現閣員は擧つて責任を重んずる者のみなれば將來共現閣員に依つて內閣を維持して行きたし

財政問題　今後の方針に付いては確信はあるも今明言の限りにあらず

山東問題　日本が戰爭にて取りしものなれば永久に保持すと云ふが如き態度を止めて平和的に解決して貰ひたし

統一問題　自分一個の意見としては折衷的なり或る事項は中央政府にて又或る事項は地方にて處理する樣にしたし

尚福建は薩鎭冰氏が省長とならば問題はなからん東三省は中央政府に服從し居れり曹錕吳佩孚兩氏に對しては別に問題なし

輸移入免減税品目

二十日の閣議に提出

【東京電報】第二次物價調節について輸移入品の內生活必需品に關する税一部撤廢は漸く成案を得たるにつき十七日大藏農商務兩當局は最後の打合せ會を開き愈々二十日の定例閣議に提出すべく內定したる由なるが右關税品の項目に付いては色々考究の結果當分の內左の諸品に限り輸移入税免除及減税を行ふ事となしたり

一、大麥、小麥、木材、紙類、鷄卵、牛豚肉、蔬菜、綿織物、綿絲、大豆、米、糭

富士紡重役會議

大勢承諾に傾く

【東京電報】和田豐治氏の滿鐵社長諾否につき十八日富士紡重役會議開會のところ重役中缺席者あり最後の決定を見るに至らず更に二十日開會し諾否を決する事とせるが大勢は承諾に傾けり

和田氏へ再度の勸說

【東京電報】和田氏は水野內相より滿鐵社長の交渉を受けしが富士紡の重役中に異議あり持田會社常務は重役會を代表し內相に面會して就任を拒絶せり然るに內相は更に和田氏に勸說さる處あり遂に重役會議を開くことゝなりしが承諾するならんと

陸軍次官

宇垣中將說有力　菅野師團長も呼聲高し

【東京電報】議會開會も目捷に迫り軍縮斷行上陸軍次官の任命は重大なる關係あるを以て不日任命さるべきが目下呼聲高きは菅野第二十師團長、村岡砲兵學校長、宇垣教育總監部本部長、畑軍務局長等なるが種々の關係より宇垣中將說最も有力なりと

武器問題と憲政

【東京電報】武器問題に對する憲政會の態度は國際問題に關係あるを以て單に陸相の責任を糺明する程度に止むる意嚮の如しと

確に交渉は　あつたが目下の處困難

和田豐治氏曰く

【東京電報】滿鐵社長に擬せられ居る和田豐治氏曰く『確に滿鐵社長の交渉は受けた併し非常に重大で予の後をやつて異れる人があるか何うかゞ問題である十八日午後二時富士紡では重役會を開き予の後任者につき協議する筈である而し重役會が予の滿鐵社長就任を承認したとしても予は直に承諾する譯には行かぬ一應も二應も熟慮の上諾否を決しなければならぬ、但し目下の處では困難である』

山本大將退役

【東京電報】十五日附を以て左の通り退役仰付らる

後備海軍大將　山本權兵衞

無所屬代議士憲政會に入黨

【東京電報】無所屬代議士山本厚三、田淵豐吉の兩氏は憲政會に入黨すと

阿片栽培と農作で生活する　西伯利在住鮮人

不逞鮮人に絶えず惱まされて居る　朝鮮での官吏生活は足掛け十三年　時永新大分縣內務部長談

今回總督府監察官から大分縣內務部長に轉任を命ぜられた時永浦三氏は咸鏡北道管內及び接壤國境地帶視察中であつたが十八日夜歸任往訪の記者に對して左の如く語る

元山に上陸して始めて今回の轉任を知つた譯だが僕は明治四十二年渡鮮し足かけ十三年になる官吏としては全くの朝鮮育ちであるこんどの旅行は八月二十九日京城出發浦鹽に十月二日到着一週間程滯在して各種の方面を觀察し夫からニコリスク、ポセツト、慶秋等を經由して陸路琿春に出更に慶源、穩城、鍾城、上三峰等を一巡して龍井村から局子街に引返し後會寧に入り咸北管內を視察して往復五十一日目で歸つて來た譯である旅行中新韓村では各地の民會を集めて一場の講演を爲したところが非常に共鳴するとふ風で大體に於て不穩の如き行動は一も無く至つて平穩であつた同地を僕は朝五時に出發してポセツトからノウスキカイヤ方面に向つたのであつたが多數見送りをして異れるといふ狀況であつたのである西伯利の南烏蘇里蘇城からニコリスク方面にかけての在住鮮人は約二十萬人といふことになつて居る而して是等在住鮮人は廣漠たる西伯利の未墾地を耕作して農業に依つて漸次奧地に發展し殊に元の帝制時代には

支那に歸化

すると十五町歩ばかりの土地を附與されたものであつたとのことで左樣にして今日に至つて居るのであるが耕作の主たるものは第一が阿片栽培で次ぎが普通の耕作である何分阿片は高價なるものである關係上無職者の所謂不逞鮮人の爲めに徵發されて掠奪されるので戰々兢々たる有樣であるが之に反して穀類になると是等の被害は無いのであると言はれて居るニコリスクは阿片と蔬菜この二つに依つて殷賑を爲して居るのであつて之が爲阿片を栽培して

同市に商ふ

者も又自分自身が阿片を吸飲するに至つてしまふのである阿片栽培は不逞鮮人の掠奪と阿片吸飲の害毒とを漸く自覺するに至りそれから水田を造つて稻を試作したところが非常なる好果を收むるに至つた西伯利亞に於ける水田經營は同地在住鮮人の將來に對して一大光明を認むるに至つたのであるがその後軍隊の撤退に伴うて赤化運動の擡頭を見んとしつゝあり即ち前記

二十餘萬の

在住鮮人は殆ど實際は良民である關係上不逞鮮人の横行は極度に恐れて居るのである要するに異域に在りて自分達の同胞を相食むものであるからである赤軍中にも不逞鮮人が混入して居り又白軍中にも鮮人が混入して居るが赤白兩軍が砲火を交ゆる場合には必ず兩軍共何れも鮮人は第一線に立たせられるので殺害さるゝものはどちらにしても鮮人である又

敗走する時

に際しても一番殿となるのは鮮人に決まつて居るのであるで從つて富を有する實際の避難民は露國へ歸化して赤軍や不逞鮮人の徵發を他に避くるのであつて鮮內地へ引上ぐる避難民は年々罌粟栽培の惡い一時移住せる鮮人の引上げて來るのであると思はれるノウスキカイヤでもそうであつたがポセツトでも三十名からなる在住鮮人の陳情者に會つたが何れも

軍隊か警察

官か左も無くば憲兵を置いて貰ひたいといふもののみであつた以上のことが不可能であるならばせめて鐵砲の射てる日本人を二名位づゝおいて貰ひたいそして自衞團を組織して日本人の指揮を受けて不逞鮮人や赤軍の徵發から免れたいと哀願して居つた以上の如く西伯利方面の在住鮮人は同胞である不逞鮮人の爲めになやまされて居るといふことは洵に遺憾の至りである云々

新羅時代の遺物の　保存方法を講じたい

豫算査定は來月中には決定　下關にて　齋藤總督語る

【下關特電】十九日朝下關通過東上せる齋藤總督は語る『余の辭職說は新聞に傳へらるゝのみで何等知る所に非ず來年度豫算は未だ大藏省の査定を經ず如何に決定するか不明なるも來月中には決定する筈なり酒類織物等を除く他の日用品の關税撤廢は來年四月より實施の豫定なるが未だ大藏省の回答に接せずと實施の曉には三百萬圓位の減少を見るならん今回は途中慶州に立寄り新羅時代の遺物を視察したが何とか保存の方法を講じたいと思ふ二十九日京城歸任の豫定なるが今回は私用である』

米價は底値か

村落金融組合をして極力小作人の經濟難を緩和せしめよ　朝鮮火災保險社長　河內山樂三氏談

米價前途と籾處分奈何【五】

米價の前途に悲觀樂觀兩樣の說あり何れが實現さるゝかは自分のような素人には分らぬと云つた方が先無事であらう。悲觀說を爲すものは政府の米作豫想が第一回の七千萬石から急に六千二百六十萬石に下つたので何うも不可思議である、之れは米價維持上特に生産額を少く發表したので實際は六千五百萬石以上であらうといふやうな事を言つて居り商人間にも之を信ずるものが多いようであるが或は之は事實かも知れぬ然し假りに六千五百萬石を事實としてもそれが直に此上の米價安を助長するものとは思はれない、と云ふのは現在の相場は既に

六千五百萬石

と云ふ豫想の下に作られて居るものと假ずるからである。だから若し六千五百萬石であつても別に驚くにも足らぬ又若し裏通り六千二百萬石であれば相場は一寸持直すかも知れぬ要するに米價の豫測は至極六かしいものであるが生産費等の關係から見ると現今は最早下る處迄下つて居るやうに思はれる。昔は日本人の生活費は米代の二倍を原則とされて居たものだが今日の相場では米代は生活費の十分の一にも足りない之は米が下り過ぎたことを證するものであらう併し今日のような狀態では充分

米價の安定を

圖り農民を救濟する爲には各地方に倉庫を設け其地方の産米の幾部を擔保に取り一ケ所に收容し之に對し保險を付ける事にして米券を發行して農民に渡して置くようにすれば現在の如き不安な相場は出て來ない筈である。それでなければ各地の農會を活動させて倉庫を建て殖銀其他から金融の途を講ぜしむることだ尤も之は理想的で差當りの間に合はんが現實の問題としては何うしたらよいかと云ふと村落金融組合をして極力小作人の經濟難を緩和させることである。一體農家に

米を賣り惜み

させるのも惡いが賣急がせるのもよくない。此際銀行、金融組合等の力によつて是非共平均賣が出來るやうに仕度いものである。

府廳新築と敷地

京城府廳新築に要する財源として現在の府廳舍並に本町警察署の敷地を無償にて交付を乞ふべき事は吉松府尹と當局との間に略諒解を得たるが唯茲に困りし事は警察署を何處へ移轉させるにしても十五萬乃至二十萬圓の經費を要すべく若し警察署を現在のまゝにして置くとすれば地價に多大の相違を生ずる事となるべく而して現在の警察署の地價は道路に面せる處より奥行十五間程は坪九百圓の相場を維持し夫より入ると地價は非常に低下するより此點より見て[illegible]を有する警察署を此儘に放置するは財源を半減するに等しく若し移轉さすとすれば前述の如く其費用を出さねばならず痛し痒しの態にて府尹も少からず苦心中なるが要するに來年夏頃迄には是非共新廳舍の建築に取りかゝり度しと目下極力運動を進めつゝありと

醫師試驗合格者

總督府醫院にては本月五日より十六日まで醫師試驗を施行したるが合格者次ぎの如し

金益稷　李容萬　朴容寬　劉永浩　島田管一　金東俊　金基鎬　白斗鉉　姜世馨　邊基栢　酒井里見　李昊湜　金璟斗　鄭圭元　中野近次郎　金成國　宮田辰一

同第一部合格者

奧野朝三郎　山道雅雄　島捨次郎　井上悦　稲毛重松　鄭東燮　河口傳介　田代雄悦

而して十八日午後一時より總督府醫院に於て試驗委員長志賀博士より合格證書を授與せるが本府よりは村田衛生課長臨席せり

『貯金デー』

宣傳效を奏す

去る十四、十五、十六の三日間に亘る貯金デーの京城府內の成績を聞くに三日內の府內五局十八所の預入高は內地人一萬四百口三萬四千六百九十七圓朝鮮人四千五百七十六口七千六百九十六圓合計萬四千九百七十六口四萬二千三百九十三圓にて內據置貯金は一千八百口以上に達するの盛況を呈し之を局所別に見れば京城局が流石に第一位を占め光化門、南大門、西大門、龍山等の順序となり朝鮮人側の成績は光化門局が第一位にあり郵便所は本町三丁目、鍾路五丁目、本町五丁目は各五百口以上に上れり要するに據置貯金等利率の高き故なりと雖も一般に貯金思想の向上せるを認むると共に宣傳の効果も亦沒却するを得ざるものあるを信ずるものなりと加藤局長は得意げに語れり

貯金通帳交付（狀況）

遞信局が全鮮に亘つて決行した『貯金デー』は時節柄頗る良好なる成績であるが今回『貯金デー』に當り地方郵便局所へ交付した貯金通帳は八萬冊でそれに各局所が保管中の通帳の十月十三日の現在高七萬冊を合算すれば實に十五萬冊といふ破格の數に達しこれ等は大部分三日間の『貯金デー』に新規預金者へ渡された譯である遞信局では今回の需用を見越し更に內地貯金局へ五萬冊の追加を要求中なる由因に本年四月以降七ケ月間に於ける全鮮各郵便局所へ交付した貯金通帳の冊數は二十四萬に達して居るがこれを前年度中の十九萬冊に比較すれば前者の半ケ年間は後者の一ケ年間よりも實に約三割の增加を示して居る

遞信共同購買（狀況）

朝鮮遞信協會（元の遞信共濟組合）が全鮮遞信從業員の日用品共同購買事業を開始したのは本年の六月であつたが爾來四ケ月間に於ける事業の概況を聞くに物品配給數[illegible]六十四其金額一萬六千圓に達する盛況であるこれを物品の種類別に見るとシャツ及洋服附屬品三千四百四十圓食料品類三千二百七十圓呉服太物二千七百二十圓菓子類千四百五十圓文房具類千六十圓といふ有樣で購買先は全鮮各道在勤の從業員であるが特に僻遠の地に在勤する人々の爲めには唯一の購買機關であるから頗る歡迎されて居るのである品質は確實で代價は[illegible]

鮮人農業會社

奉天に設立

昨秋奉天に救濟公司なるものを設立し一般鮮人救濟の目的を以て低利資金の融通をなし其の成績相當見るべきものあるに鑑み同公司設立者たる奉天民會長閔宇根及び內地人の有志が發起となり目下同地方に居住する一般鮮人を救濟し生活の安定を與ふるの趣旨にて鮮人農業株式會社を設立し低利資金の融通並に精米業を營むべき計畫にて資金を二萬圓とし一株二十圓宛の株式組織となすべく目下株の募集に努めつゝあり因に同會社は專ら鮮人救濟の金融機關たる東亞勸業會社より一萬五千圓の補助資金の融通を受くべく諒解を得つゝありと

共益社雜穀部移轉

共益社雜穀部にては主として大豆を取扱ひ來りたるが近來雜穀の運輸は運賃の關係にて概ね京仁線路より遞送さるゝ傾向生じ來り京城にて雜穀事務を扱ふは不便少からざることゝなりたるを以て同社雜穀部を數日中に仁川本町に移轉することゝなりしが他の同業者間にも仁川移轉の希望を有する者多しとの事なり

商議委員會と決算

京城商業會議所にては十九日午後二時より委員會を開き食料品々評會に要する費用の決算を爲したりと

辭令

海州地方法院瑞興支廳判事　咎相鎭
補平壤地方法院判事
平壤地方法院判事　尹同稙
退職を命す（以上十九日付）

出張命令

總督府通譯官　須永茂平
吉林へ出張を命す
哈爾賓へ出張を命す
同　松島親浩
東萊高等普通學校長　津田信
東萊郡管內へ出張を命す（以上十八日付）

み號國債賣渡

安くて購買方法が簡便で地方在住者には此上もない福音である

振替貯金事務を取扱ふ郵便局所に於て五分利國庫債券み號の賣渡を取扱ふことゝなり二十日付總督府官報を以て告示されたり

一、賣出期間　大正十一年十月二十日より十一月五日迄
一、券面種類及賣渡價格
　二十五圓券　二十三圓卅五錢
　五十圓券　四十六圓五十錢
　百圓券　九十三圓
　五百圓券　四百六十五圓

備考　右五分利國庫債券償還期限利率等左の如し
　利率　年五分
　利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日
　初期利子（大正十一年十二月一日渡）額面百圓に付六十八錢
　利回歩合　六分七厘五毛餘

露國行電報遲延

京城浦潮間電報は十七日午後八時五十分より露領內に於て不通となりたる爲め露國行電報は長崎浦潮線を迂回し遞送の止むなきに至り從つて其遲延を免れざるべしと

輸入小麥課税

滿洲産小麥粉の安東經由輸入は從來無税なりしも今回支那海關税務司より從價五分の課税を爲す旨發表十六日より施行せり

加州産新米入荷

大阪高發商店米穀部よりの報に依れば本年加州産新米は去る十二日東洋汽船春洋丸にて初めて三百袋入荷したるが米質は乾燥粒揃ひ等十分になる值段は未だ具體的取引無きため確かなる値段は未だざるが日本著石廿八九圓見當なりと、尚米國本年の收穫は籾百卅萬俵入約三百七八十萬袋にて之れを玄米に換算すれば約九十萬石見當の豫想なりと

木並少佐待命

十九日左の通り待命發表ありたり（東京電報）

野砲第二十六聯隊附（龍山）砲兵少佐　木並一行
免本職待命被仰付

片岡博士講演

二十一日入城すべき工學博士片岡安氏は二十二日夜公會堂に於て都市計畫に關し一場の講演を爲すべしと

森田前領事招宴

前吉林總領事森田寛藏氏は歸朝を命ぜられ途次十七日入城朝鮮ホテルに投宿十八日夜時實監察官其他有志の發起に依る千代本に於ける晩餐會に臨みたるが十九日朝發歸東の由

柴田知事出發期

新任三重縣知事柴田善三郎氏は家族同伴廿三日午前十時南大門驛發列車にて赴任の筈

安滿少將視察

朝鮮軍參謀長安滿少將は隨員を隨へ十九日夕出發國境守備隊視察の爲め熙川、江界、厚昌、中江鎭、慈城に出張來月五日歸任の豫定

和田局長東上

和田財務局長は明年度總督府豫算に關し廿日より大藏省に於て査定開始に就き十八日朝南大門驛發列車にて東上約一ケ月滯在の上一先づ歸任更に東上の筈

荒川代議士歡迎會　在城日本大學校々友會にては十八日午後八時より朝鮮ホテルに於て今回入城せる荒川代議士副島博士の歡迎會を開き木尾幹事の挨拶に對し荒川代議士副島博士の有益なる談話あり午後十一時散會せり

北鮮旅行

總監に陪して　京城から元山迄（下）　田邊椋鳥

展望車のドアーを開けて內に這入つた途端にどツと哄笑が起つた『大層面白さうですが何事ですか』と聞くと有吉總監は例の元氣な聲で『やあ御苦勞だね、まあ聞き給へ、武井君（官房課長）が今頻に氣を揉んでゐる所だ、何しろあの頑丈な體で船に弱い元山へ到着するのも後三時間しか無い元來取越し苦勞の武井君は已う今から怯えてゐる所だ、今日の天氣は非常に良いが天氣豫報では海上は時化だとあつたやうだね君』斯う云つて武井君に一瞥を與へ再び肥滿家局長を見てから〳〵と笑ふ。居合せた大塚局長は更に筆頭一歩を進めて『荒れるの荒れんのつて朝鮮の東海岸ほど荒れる所は世界にない武井君には實に氣の毒なことだ』と揶揄かふ。汽車は何時の間にか東豆川を過ぎて秋色酣な高原を走つてゐる

× × ×

總監と前田司令官とは護謨の加工々業に就て盛んに議論を始めた、大塚局長は時々海外の近情を持出して兩國の護謨工業は斯々でと話の相間々々を繼つてゐる前田司令官が護謨を鐵の代りに使用したら輕便で且經濟だらうから何とか工夫したいと云ひ出すと總監は『それは非常に困難な事だ、護謨の利用に就ては私も種々考へて見たが車輪タイヤの機に廻轉するものに使へば耐久力があるけれども前後左右に踏み躙る馬蹄などには到底耐へないでせう、硬ければ潰れてしまふし軟かい時は定著しない硬軟宜しきを得れば結構ですが、現在の工事では遺憾ながら見込がない』と各地の例をあげて辨じてゐた傍に居る[illegible]譯官は終始無言のまゝ瞑想し中村秘書官は兩手を組んで無念無想の境を逍遙してゐる折柄古城梅溪君が此の汽車に乘合せてゐたので一寸挨拶のため顏を出した

× × ×

元山に着いたのは午後四時前であつた、石原府尹や宮崎稅關長、黑田遞信局海事出張所長その他官民有志の驛頭に出迎へた者が二百餘名に上つた、總監や大塚局長は挨拶の爲めに息も吐けない位であつた。驛から四臺の自動車に分乘して一行が新稅關波止場へ着いたのは丁度四時半頃である、波止場には稅關から差立てたランチ郵子丸が一行を待つてゐた、軈て合圖の振鈴で船は徐ろに岸壁を離れて鏡のやうな海面を快走する、總監は船尾に立つて宮崎稅關長が地圖を指しつゝ說明する元山港の狀況に耳を傾け又自ら質問を發したりしてゐた。間もなくランチは遞信局所屬の汽船光濟丸の左舷に着いた。松崎船長の案內で一行は船舷を艀から昇る、甲板に整列した船員一同は何れもニコ〳〵と歡迎の意を表し親切に荷物の世話などしてくれる、見送りの人々を載せたランチも數分後に到着する、總監は船長に導かれて上甲板へ登つた、中甲板の上下は見送人と一行とで一しきり混雜した

人事消息

▲田村政治郎氏（電氣試驗場技師）今回東京へ出張を命ぜらる（東京電報）
▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）十九日朝釜山より歸城
▲松村松盛氏（總督府秘書官）廿一日午前十時發列車にて總督出迎の爲め東上廿九日頃歸任の筈
▲石川（全北警察部長）十八日夜入城不知旅館へ
▲沖永（全北土木課長）同上
▲五味留吉氏（城津電氣會社專務）十九日朝入城　同上
▲諸戶北郞氏（東京帝大農科教授）十八日夜入城京城ホテルへ
▲松田貞治郞氏（兼二浦三菱製鐵所長）十九日入城朝鮮ホテルへ
▲土肥第一銀行重役　十八日南光州より入城朝鮮ホテルへ
▲同光會朝鮮視察團一行　十九日夜釜山に向け出發
▲石川京管局保線課長▲岡田同營業課長　早川社長遺骸見送りの爲め釜山迄出張十九日歸任
▲桐山信光氏（龍山警察署長）夫人病氣の爲め二十日朝發京都へ歸省二十九日歸任の豫定
▲天日常次郞氏（京城殖産信託社長）東上中の處十八日朝歸城

【茶話】

豫て重態を傳へられて居つた陸軍次官兒島惣次郎中將は十八日朝竟に溘焉として去つた▲中將は軍人には稀に見る實際家であり堅實強健であり人に接していや味が無く眞にこれからの時代に相應した將軍であつた▲やつと同氏の眞價と手腕とを發揮すべき時代に足を踏まれたばかりで卒去したのは洵に哀悼の至りに堪えない▲中將は嘗て第四代の朝鮮駐劄憲兵隊司令官兼警務總長として立花將軍の後を襲ふて來任したし朝鮮には深い緣故があるのである▲軍人臭くない至つて平民的な中將は又實に能辯家であつたことは總督府の記憶に新たなるところであらう▲中將が任に憲兵隊司令官に就いて第三日目に管內各課長の懷中時計三十餘個を取下ろし物故き[illegible]へ入れて▲不正確な安時計幾つもかけ修繕のには食はれるし何れから見ても不經濟だと云つて一同をアット言はせたのも今は亡人を追懷する種となつてしまつたのである

◆頭を痛めず思ふまゝスラ〳〵書ける　新考案組立式　新しい文章辭典　◀大好評▶九十版
◆文豪大町桂月先生苦心の名著
●本書は文章を組立式にして他に類なき新考案[illegible]
特價壹圓八拾錢
現代名文集（評釋）　無代進呈
東京市神田區表神保町　振替口座東京四七二五三番　二星社

會報
大日本國粹會朝鮮本部發會式を來る二十二日午前八時京城府廳前に集合南山京城神社々頭に於て宣誓式後同十時獎忠壇公園に於て擧行致すべく候間會員諸君には同時刻迄に同所へ御參集被下度候也
大正十一年十月　大日本國粹會朝鮮本部
會員諸君

（元李王職美術品製作所）
製品陳列所ニ御來觀乞フ
營業種目　金銀細工　螺鈿　木工　石工　陶器　打物　身具品　裝飾品
目録價格表進呈仕候
京城太平通一丁目　朝鮮美術品製作所　電話本局三二一九番

亡父千吉郎在職中ノ御高誼及發病以來ノ御懇篤ナル御同情御配意感銘ニ堪ヘス尚通過沿線各地ニ於ケル各位ノ御鄭重ナル御燒香御見送相受候段更ニ感激措ク能ハス只今遺骸ヲ擁シテ滿鮮ノ地ヲ離ルルニ當リ母ト共ニ謹ミテ御禮申上候　敬具
大正十一年十月十八日　釜山ニ於テ　早川忠吉

昨夜弊社社長早川千吉郎告別式龍山驛ニ於テ執行ノ處夜中ニ拘ハラス遠路御參列被成下難有奉謝候乍略儀以紙上御禮申上候　敬具
大正十一年十月十八日　南滿洲鐵道株式會社　京城管理局

家庭副業　三円迄・持寄取次店　友榮商會

科學的に相場の高低を發見　三圓　相場必勝秘訣

嚴父立石西吉儀[illegible]十月十八日午後七時死去致候間此段御通知申上候也追而葬儀ハ來ル二十日午後三時自宅出棺南山本願寺ニ於テ執行仕候
大正十一年十月十九日　大和町三丁目
男　立石進
親族　友人　總代

地方農家保護の爲め 農業倉庫設置されむ

仁川米豆檢查所主事 藤本圓藏氏談

【仁川】食糧問題の解決と云ふ事が非常な重大なものであり一番至難なる事であり而して一番喧しく論議されねばならぬ今日米に就ての研究が極めて熱心に行はるゝのは當然の事であらねばならぬ、食糧問題の解決の根本は米の增殖に在るは云ふ迄もない事で如何にして多くを生產し如何にして優良の品を得如何にして

國民の嗜好 を滿足さするに足る食糧を供給するかが問題の歸着點である之れを以て一國經濟の根本である農業の振興を策し地方生產者の保護を加ふるは必然の事で近時此の方面に多大の努力を注がるゝ樣になつたのは著しい事實である、內地各府縣で奬勵されて居る農業倉庫の如きも亦此の實現で之を以て生產業に關係者の享くる利益は誠に尠からざる偉大なものがあるのである農業倉庫と云ふのは從來個々在つた米檢倉庫の擴張された樣なもので其の特質は德川時代の彼の常平倉に濫觴し

現代化した ものである目下熊本縣或は廣島縣の如きは既に大に普及されて居るが其他の府縣でも特に奬勵せられつゝあるものである斯くの如く內地の各府縣許りでなく朝鮮の產米增殖改良地方農家の保護政策等を行ふに當つては近き將來に於ては朝鮮にも奬勵設置せなければならぬものである、內地では現今之を郡の監督指導の下に郡若くば町村に於て管理され政府からは相當の補助金を交給する樣になつて居る此の農業倉庫の利用區域は同一町村を單位として自己消費米の外は悉く此の倉庫に搬入して格納するそして町村の管理者は茲で產米檢查を行つて等級を附し所謂

倉荷證券を 發行し以て適當の時機迄保管の任に當る而も其の保管倉入れの產米に對しては必要に由つては之れを擔保として低利資金の融通をする斯くして小農は必ずしも必要の資金に迫られ見すく安値に放賣する不利益を見るの要なく米の前途を達觀して或る程度迄は持ち堪える事が出來る勿論庫入れ品に對しては石數に應じて極めて低廉な保管料を仕拂はねばならぬが其代りには自己の貯藏庫を建つるの必要なく彼の從來ある土藏の如きは全く必要ないことになるから便利を得る而も農業倉庫は地方團體の管理であるから極めて安全で

保險も確保 されば盜難の憂ひもない、一旦搬入して保管を依託したら賣りたければ倉荷證券一枚で賣買が出來前途が高いと思へば賣る時機迄は一時の資金は低利で融通して與れる農家に取つて之れほど便宜で有利な事はない譯である又一方には各戶から產米を運んで一定の場所に集むるのであるから自然自己產米の改良を念とする事になり品質の改良は勿論農業機關上に向上して品質上の便宜からしても倉荷證券で受渡しが出來販賣の統制上に、之れを賣買する需要者の便宜の上からしても倉荷證券で受渡しが出來るので

現品受渡の 必要が無く而も一定の等級に檢查區分されある爲めに現品を見なくとも安心して取引が出來る殊に同一等級產米は各個人のものと雖も悉く共通であるから搬出搬入順を追ふて行ひ爲めに品傷みを避くするの便がある更に之れを國家の上から云へば農業倉庫の普及の曉には全國貯藏米が一見して明確に判明するので從つて米價の調節が出來今日の如く現存米の數量が不明等の爲め米價が極端に高下する樣な事を少くする事が出來る低利資金の供給や其他で農家が米の賣惜の調節が出來る爲めに徒らに之が爲めに

米價を昂騰 され一つに農家の態度如何によつて決定さるゝ不自然を招來する事なきやとの杞憂を懷く者も生ずるだらうが米は一年草で持ち越す事の出來ぬものである限りは當然に背いて迄相場を左右する事は出來ないのである斯うして其の利益を擧ぐれば米の數量が明確なる故に國家が食糧政策を行ふにも最も好都合であるし更に進んで米の國營を行ふに際しても非常な便宜があると云はねばならぬ然し乍ら斯の如き施設も單に地方施設に俟つのみでは到底期待を滿たす事は出來ない一つに政府の相當の補助を仰ぎ

低利資金の 供給を受くる等指導にも遺憾なきを期せねばならぬのである而して將來之れを朝鮮に設置奬勵する場合に如何なる形式を執るかは內地と同一に見做し能はざる事情もあるが大體に於ては町村に於て之を以て其の位置に立たしめ或は郡の管理たらしむるも宜しい道の監督の下に在つて總督府が之を指導すれば內地のそれと何等變りはなく利用の方面から行けば寧ろ米のみならず籾の格納にも充て得るので現在の如く籾摺から來る格差を減ずる事が出來る即ち農業倉庫に依つて乾燥すれば乾燥など最も

充分理想的 たらしむるが故に乾燥不良から來る蟲米の混入など自然に之れを無くする事となり其他產米改良の上に異數の效果があるのは勿論であらう只現在の地方農家の事情に在つては尙時期尙早の嫌ひなきに非ざる場所も多いが近き將來には部分的にも其の施設を見るべきものであらう差當り其の適當なる地方を云へば京畿道振威郡の如きに此の施設を要すべき機運が到來しつゝあると云ひ得る同郡では籾摺業者の數が實に八百名以上に達して決して籾の搬出をしない位になつて居る而して近く茲に籾摺改良

組合を組織 して產米の改良成に充分の統一した指導を行ふ事なり全鮮の模範たるべき處である此の點にして今一歩を進むれば即ち前記の農業倉庫などの施設は當然必要となつて來るのである

滿鐵と地方開發 鎭南浦にも海水浴場を 來年度から新設計畫

久保京管局長談

【鎭南浦】內地は云ふ迄も無く朝鮮に於ても各地到る處不景氣風吹荒んでゐるにも拘らず滿鐵京城管理局は秋風に帆を上げて進むやうな順調時代となつた、大正七年頃朝鮮にも一しきり成金風が吹き廻り、少し金のある朝鮮人は二三等に乘り、約半歲の間に一二等滿員の盛況を示した事があるが、當時は支出が嵩しかつたゞけに京管局自身に取りて決して好況とは云へなかつた、然るに本年に入り始めて

理想通りの 計畫も實施し得るやうになつたので人件費に於て些かも節減を見ず一方收入に於て漸次增加を示しつゝあるので自分は密に悅んでゐる點は滿洲線を凌駕する增加を示しつゝある爲め地方開發の方面にも手を延ばし得るやうになり先づ本年は元山、仁川等にも相當の設備をしたが來年度は更に半頭一步を進めて釜山、仁川、元山等の海水浴場の設備を完全ならしむべく著々具體的に計畫を進めてゐる。京義線にあつては平壤に三十萬圓を投じ柳屋旅館に鐵道ホテルの經營を委任する事にして一方

鎭南浦にも 來年度から海水浴場を設け、出來るだけの設備を施したいと思つてゐる。又近く鎭南浦にも鑛水が發見され當局に於ても大いに期待してゐると云ふ事だから兩々相俟つて鎭南浦發展に資する所が出來るであらう。平壤、鎭南浦間の列車が一時間と四十分を要するので時間を短縮する方法はないかと種々研究も試みて居るのである、時間を短縮するには京義線の列車に接續せしむるのが最も良い方法であり、京管局でも是に對し考慮してゐるが、何分平南間に

急行列車を 運轉せしめやうとするには線路を改修しなければならぬ、此の改修費に少からぬ費用を要するのと、現在の旅客だけでは

滿洲瞥見【一】

長春にて 靜山生

滿洲瞥見記と謂ふ、期日は十四日間である、奉天以北、哈爾賓、長春、白骨、太平山以南の各重要市場を觀察するのが目的で、其の上此の短い時日を以て最も有力なる材料を出來る丈け多く摑んで歸らうとの慾があるので、隨分多忙な旅行と謂はねばならぬ、

十四日朝京城から來る列車は豫め三十分間の延着、午後十時二十分京城驛、驛にて中日聯親會の幹部高橋と會ふた、十六日から二日間哈爾賓で開會する滿洲所管にかゝる支那人關係の各學校職員會議に列席する爲めの支那人であるのだと云ふ、予もハルビンに志すもの田舍者の癖として聊か心強き感なきにあらずである汽車は安奉線の暗を突いてヒタ走りに走る、間もなく鷄背の處に遊ぶなりけり未だ見ぬ謎のハルビンは暗き處なりなどと思へばこそおかしかりけり、見れば午前四時何分である、時計を眺むると、火の消えた樣な本溪湖附近にて目が覺める、窓より湖の熔鑛爐か何か知らぬけれども、夜暗を照らす赫々の火焰恐ろしい程のものらしい

藤家屯驛にて夜はしらく、と明けた、驛の燈火暗く、遠河方面にて朝霧にて咫尺を辨ぜず、遠河方面にて水白く霧に沈んで爽さ實に言語に盡する心地す、思へば昨日來の暖かさに多く衣を脫ぎ更に衣を濟んで來たからであらう奉天驛着は午前六時十分なり、驛々たる朝日東天より出でゝ、大霧天の霧を征伏しつゝあり、爽凉身に逼り手足の冷き事は流石に滿洲の秋なりけり

懷ひ起す、明治三十九年の冬、日露戰爭の末期、予は陸軍一等主計として從軍し轉々として藤家屯に來り、ある民家に宿營する事約二ケ月、當時の寒さに零下三十度にて水筒の酒凍りたる事を、爾來十有何年、屢々藤家屯を通過する每に當時の宿營生活を思ひ起さぬ事はないが、今度の旅行は一入に懷しい樣な氣持ちがする

奉天以北は千里滿洲の沃野、大豆、高粱、包米、悉く刈り取られて茶褐色の壙が數百里も續く、野、村、畑、山の處々、柳、楡、白楊等の樹々は皆黄葉紅葉して秋晴れ日和である時少し早く、滿洲の特產物を馬車に運搬する壯觀は見られぬけれども、早きは地積みの大豆が黄色に光りつゝある、開原、昌圖、四平街、公主嶺、范家屯等同樣の農家の秋なり午後一時長春驛に着、今夜九時何分の列車にてハルビンに直行する等であつたけれども都合ありて明日に延ばす

今日は日曜日の事とて各官衙公署は皆休業である、安東での知人、長春地方事務所の古賀氏を社宅に訪ねて長春の概念丈けでもと思つたけれども古賀氏は不在、已むなく客引きに誘はるゝ儘に驛前の旅館に入る、生憎ペチカの修繕中にて部屋に乏しく行燈部屋に似たる處に案內される初旅の悲哀である安宿の悲哀さたなし

『待つ間』 田中秋郊氏作 〔仁川野外撮影會一等入選〕

滿鐵調辨部 豆腐値下

【平壤】市中は依然一丁八錢で京城釜山に比較して甚だしく高く一丁八錢にて新聞紙では非常を鳴らした結果豆腐屋は結束して憤慨し新聞社を相手取り民事訴訟を提起し今や紛爭中にあるが平壤滿鐵調辨部では物價調節の趣旨に基き今回豆腐一丁五錢こんにやく五錢あげ四錢燒豆腐四錢に値下した併し市中の豆腐屋は賣に四升まで白米が下落した今日にも拘はらず依然値下げを斷行する氣勢無く豆腐一丁八錢は當然の値のやうな顏をして振れ歩いてゐる。

大同橋に決定した

目下架設中の人道橋

【平壤】大同江鐵橋架橋工事は昨秋起工式を擧行して以來約一年に相當するが其間洪水其他の故障も無く順調に進み橋脚は目下八分通り完成し來月中には全部完成すべく橋桁も本年中には完成の見込であるが既に注文中の鐵材も十六日川崎造船所で一部は完成し豫定通り結氷前には大部分を完成せしめ豫定通り來秋晩くも十一月迄には全部の竣工を見る豫定である。尙鐵橋名は瑞氣橋といふ說も相當あつたが總督府に於て愈々「大同橋」に決定したと。

手數料問題から花を咲かせた仁取總會

提案悉く可決重役は全部重任

【仁川】仁川米豆取引所定時株主總會は十八日午後一時三十分同所樓上に開會されたが、松本社長座長席に就き大株主の若松小島氏の如く出席株數の報告あり大正十一年度上半期營業報告、損益計算書及財產目錄の承認を求め、大日監査役の監査報告を待つて二三の質問があつたのみで全部承認

續いて **利益金處分** 案も原案通り可決し準備積立金の削減案も早川氏によつて述べられた外異議なく可決記念品の贈呈役員谷戶、鄭夫氏辭任に對する記念品贈呈も亦役員會に一任する事として可決最後に重役任期滿了による改選の件に移つたが早川氏の提案によつて投票を用ひずして全部重任を異議なく決定し欠員谷氏の補缺監查役一名の選任に就ては京城、仁川各三名宛の銓衡委員を擧げて選定する事とし委員の指名を

座長に一任 したる結果京城側から早川、別府、高橋の三氏、仁川側は野口、萩谷、今村の三氏指名され以上六名は別室に入つて銓衡を一時休憩して銓衡を終ると早川氏より大阪の高倉氏三氏を適任者と認めて推擧したる旨の報告がありて重役選任の件も一瀉千里的に悉く決定議案は滯りなく議了したが此總會に於て花を咲かせたのは取引所が受けつゝある大阪取引所の費用買間をキッ掛けに出報の無用長物觀から受ける意義を質し市川專門家のより善き改善提議や

仲買人側の 改善要求など で可成り議論も出たが最後に仲買組合の要求たる手數料口錢分配に伴ふ日仕拂手數料徵收の値上げ等に仲買店の京城出張所公認の義などに就ては若松社長から其の要求の已むを得ざる至當の事情に在る事を述べ重役會の裁量に一任されたく事情極めて株主の重大の問題であると信ずるから上程を豫め御承認を得て置きたいと云ふと諒解を求ると問題の火の手は此處から擧がり此の問題の事情に就て（以下略）

猛烈に肉迫 を試みて社長の人格問題を論議し兩者の間に聞き苦しい論爭が演ぜられたが結局社長の聲明に聞險は繼續し手數料の値上げ分配率の變更には多少の意見も交換せられたが重役側の意思を諒として納的努力や重役側の意嚮を諒として納まり仲買店の支店設置問題の如きも後際の反對意見もあつたが大阪店其他の穩健な意思表示によつて設置に出來得るだけの努力をする事を承認して午後四時終了した

仁川公會堂 上棟式 廿二日擧行

【仁川】豫て仁川穴門前に新築中なる仁川公會堂は請負者高崎氏の手に依り着々として工事進捗し既に外部大部分の工程を終へたるが來る二十二日上棟式を擧行すべき豫定なりと斯くして豫定の進捗を見れば明年一月の名刺交換會は先づ此の新築樓上にて催ふす運びになる豫定なりと

支那人も 勞働聯盟

賃銀統一計畫

【平壤】平壤府居住の支那人勞働者は此程三十餘名聯盟し支那人勞働者の賃銀統一を圖り會の向上發展を期する所あつたが將來は平壤府內及び府外の支那人勞働者を網羅して組織し其の趣旨を徹底せしめ更に生活の安定を圖るさうである現に市內勞働者の如きも從來は支那人各個相違を來して居たが最近に至り價格一定し步調を揃へて來たので追々其實を擧げる事となるであらう

仁川狩獵大會

二十二日永宗島で

【仁川】仁川體育協會銃獵部では豫期計畫の第一次狩獵會を來る廿二日愈永宗島に試むる事となり十八日夜委員會を開いて打ち合はする處があつた、今回は午前四時と云ふに傳馬船を驅つて永宗に渡り先づ黎明の野に獲物を狙らんと腕を撫して待つて居る者が多いので定めし獲物の山を築くべく天氣の狩りが進捗なく發揮さらうだらうと期待されて居る

故早川氏燒香式

【釜山】故滿鐵社長早川千吉郞氏の遺骸は與子夫人令息忠吉氏令弟湯淺七左衞門氏及久保、松岡、赤羽各滿鐵理事高柳中將其他社員各代表者三十九及附從一名付添ひ十八日午後零時二十五分釜山驛中央ホームに到着滿鐵社員及多數官民の出迎者は職員に之を迎へて交々吊詞を呈し終つて靈柩車は運輸課派出所前の廣場に設けられた祭壇の後方に引込まれる祭壇には社員其他釜山府、商業會議所、瓦電會社其の他より贈られたる多數の花輪や同鄉人會よりの供物等が供へられた斯くて總泉寺僧侶讀經裡に社員及一般の燒香ありて午後一時過ぎ告別式を終り午後二時半再び靈柩車は第一棧橋プラットホームに引込まれ十數名の滿鐵人夫の手によつて靈柩は靜かに連絡船高麗丸の特別室に安置され斯くて午後八時三十分遺族及多數の付添に守られ靜かなる波路を辿つて一路下關に向つたが棧橋には社員外多數官民の見送り人が哀悼をこめて見送つた

元山の本社活動

【元山】我社讀者慰安第三回活動寫眞大會は十七日午後七時半元山館に於て六時を少し過ぐる頃から招待券を手にして詰め掛ける愛讀者陸續として絕へず定刻七時半には既に滿場立錐の餘地無き迄の盛況を呈した『死の蔭』は未だ記憶に新なるのみならず恰も其悲慘事の當時關東大震災の慘禍は水産會議列席のため當元山に滯在悲報に接せしと言ふ因緣あり一般の感動も亦く感歎の聲さへ聞へた、最後の『千軍屋』は諷刺する滑稽に觀客哄笑斯くて非常な盛會裡に同十時半閉會した。

私立詩春學館開校式

【江原】江原道私立詩春學館は從來超過見童救濟の一策として有志者の熱誠に依つて今回設立せられ六月三十日附を以て許可を得七月十日より假教授を開始して來たが去る十七日午後開校式を擧行した當日は中知事始め官民有志多數の來賓があつた（春川）

貯金日と釜山の成績

【釜山】十四日より十六日迄三日間の釜山郵便局の貯金デーは非常なる成績を以て終りを告げたが此の三日間の總取扱ひ口數二千五百八十六口金額六千五百七十五圓餘で此外局內各所の取扱高を合算すると實に總口數五千七百四十三口金額二萬二千百九十七圓の多額に達して居るが此三日間に於ける貯金事務の取扱狀況は一口に對する取扱時間約二分位の平均で實に多忙を極めたさうである

平壤の貯金日成績

【平壤】平壤郵便局及府內郵便所で試みた貯金デーの預入結果は五千三百四十八人新規千三百五十六人金額一萬一千二百七十二圓十八錢であると

釜山急設電話抽籤

【釜山】釜山郵便局に於ける本年度急設電話の抽籤は十八日午後一時より商業會議所樓上で府內有志及び新聞記者立會の上擧行したが本年度の申込み總數は三百五十八口で內優先十三口と取調べの結果に依る抽籤無資格者の六十四口を控除した抽籤資格者二百八十一口に對し百二十九の架設をなすもので本年度中には之が架設を了する筈であり現在の千四百七十九番から千六百二十一番に增加する譯である

專賣特許第三八〇七三號 十年四月附
專賣特許第四二九〇九號 十一年六月附
新案特許第六五二五七號 十一年六月附
英、佛、墺、加奈太、政府 專賣特許下附
白萬言の自贊よりも 事實の最大雄辯!!
眞の幸福と健康を望まば 本器の靈能に浴されよ

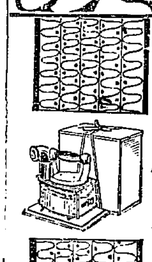
科學の極救 自然の妙味を應用し大自然と造化の原理に適應せる運動を筋肉全細胞に與ふる靈器であります……一度本器に觸れんか凡ての體內組織をば大自然の健康體に導き强健たらしめずば止みません……盲人が山に金鑛に探むるが如き盲目滅法界なる藥物療法の缺點を排して體內の凡てに靈感を與へ靈効を發します……構造の堅固、永久の責任保證、無料修理の絕對責任を負擔するか故安心して購入出來ます……文化生活の必要條件たる時間の空費をなさず安眠しつゝ健康を促し難病を治し然も一厘の冗費を要せず 極めて經濟原理に適せることは世界で唯一つ本器あるのみです……カンプル注射的一時を抑へる樣な紫光線器如き刺戟甚しく且つ玩弄物式と異り根本的難病治癒と眞に自己體質改造の偉効を奏する故今日の聲價を知られて居ります

詳細なる說明書及幾多の難病が一二回の使用で全治せる治療實驗例はハガキにて申込次第無代進呈いたします

定價 一組 十八圓 送料 內地五十錢 海外七十五錢

東京市本鄉區天神町一ノ六六
日本電解工業所
電話 下谷 特長二八四五 六一八〇 振替東京三六四〇六

日本電解工業所朝鮮出張所
朝鮮京城本町二丁目 仁川治屋
振替京城一四三三番
京城三越呉服店 鎭南浦木支店
平壤丸天時計店 新義州藤田支店
海州本町樋口商店 木浦世州時計店
群山星樂器店 木浦木時計店

特許

一度より一度と手數が省け和洋服の御仕立なり皺のしがスラ〳〵と早く御運びになられる本器の効め御試し遊ばせ（目錄進呈）
○類似粗製品あり御注意を
賣捌店 全國到處有名金物店にあり

醬油景品付賣出

平和博覽會銀牌受領

壹等	八端織	貳拾本
貳等	壁御召	四拾本
參等	名仙絣	六拾本
四等	久米縞	八拾本
五等	裏地	參百本
六等	縮緬半衿	五百本
七等	タオル	九千本
合計		壹萬本

賣出期間 大正十一年自十月一日至十二月卅一日（期間中ニテモ賣切ノ節ハ締切リマス）
賣出總數 大樽千二百樽 小樽六千四百樽
景品券 大樽壹樽ニ付參枚 小樽壹樽ニ付壹枚
抽籤期日 大正十二年一月十四日
抽籤場所 大田實業協會
景品引替場所 各特約店
景品引替期間 大正十二年自一月十八日至二月十五日

↓は皆さま御引立の賜ものと存じまして御禮のため謝恩賣出をいたします

釀造元 大田 辻謹之助

學生帽子附屬品取揃
安イ中折帽子販賣
帽子原料商
大阪北區南長柄二
西川眞商店
カタログ御一報次第進呈

ヘルメスウヰスキー

熟成せるその香味
……知る人ぞ知る……
世界の名酒！

總代理店 祭原商店
大阪市東區安土町四丁目

金貨印靴クリーム

本邦代表的靴クリームとして好評を博せる本品は靴の美容を保ち耐久力を增加するの效力絕大なり

發賣元 東京日本橋小舟町 長瀨商店 靴墨部

慢性腎臟炎とビオフェルミン

腸中營養物殘渣の腐敗に依りて生ずる有害毒素は血中に移行して腎臟に疑退現象を惹起し、新陳代謝を阻害して其抵抗力を薄弱ならしむ、然るにビオフェルミンは之等の毒素を撲滅し腸內制腐、消化、保健の共營作用と共に腎臟機能を旺盛ならしむるを以て、殊に慢性腎臟炎に對する本劑の應用は既に早くより醫界に賞用せられ、其優秀なる効果を確認せらる。

粉末及錠劑あり 全國知名藥店に販賣す

發賣元 武田長兵衞商店 大阪市東區道修町
製造元 神戸衞生實驗所 神戸市二宮町

（163）

來ル二十五日限リ
社會奉仕 廉賣デー
但シ指定品ニ限ル
青木堂支店
電話本局四一〇番四一一番四二二番

素子姫の洋行

大谷光瑞氏の長女素子姫は既報の如く十六日午前九時橫濱出帆の春洋丸で渡米の途についた寫眞は橫濱に於ける素子姫(左)

結婚から生れる惱み

【上】 有島武郎

婦人自らも良く男子の不身持ちに就いての攻撃が出る毎に自分も夫れを否定はしない。併し男子だけ責めて婦人自らは

貞操 で純潔だと云ふのであらうか、それは多くの場合婦人は貞操で純潔だと云へるだらう。けれ共それはほんの一皮に過ぎない、近頃の或る種の婦人達は隨分放縱になつて來た樣に見える、例を擧げて見ると鎌倉邊に住んでゐる海軍の人の夫人達の或る一部分の人々が團體を組んで夫に

不貞 の行爲をするものもあると云ふ話である、又關西地方の或る都會の女達で社交界に出る程の女には惡マークを附けてもいゝ程ださうです、それは昔から男は何をしても勝手なもの女は何事にも眼をつむつて男のなすまゝを默認し忍從するものと決つてゐたのが近頃になつて夫がする丈けのことは妻もしていゝと云ふ樣な

男女 平等の思想から貞操までに平等を主張し出したのだ相である、その議論は自分には云へないが、とにかく婦人にもその一部にこの樣な分子があるのである。それ故男子の不貞操ばかりを責めるのは不當である新婦人協會で花柳病男子に對する拒婚から婚約の前に男子から健康診斷書をもつて花柳病でないことの證明を

要求 する主張をしてゐるが此等も私は双方のもので敢て男子ばかりの健康證明書をとるのは片手落だと平塚さんに云つたことがあつたけれ共平塚さんは女子には殆どその必要がない程花柳病者がないと云つて居られた、併し病者があるなしに關せず双方から證明書を出し合ふと云ふのが

萬全 の策であり至當な事だと考へる、若し女子にそれが出來ないとしたら男子にのみ要求するのはあまりに利己的である、併し私は病者に對する拒婚同盟には決して反對するものではなく寧ろ喜んで賛成してゐる、只果してその同盟が實行されるか否かには疑問を抱いて居るが實行と否とによらずさう云ふ同盟が出來る事はよい事であり法律なりがある事はよい事である(つゞく)

奇拔な良人の賣物

價格は一ヶ月二百圓 桑港貴婦人界の珍事

米國ならでは思ひも寄らざる『良人の賣物』といふ事件が然も桑港の上流貴婦人に依つて實現された。事件は加州の砂糖王エテイス、ウエクフイルといふ、今年取つて三十九歳で三人の子供を持つた貴婦人と、同じ桑港社交界の友人たるロドニイ、ケントリツク夫婦の三人が三ツ巴となつた戀の葛藤である、ロドニイは三十二歳といふ男盛りで然も好男子である、妻のマリアも二十四歳といふ美くしい容貌の持主であるが不幸にも生れながらの病身で常に病床に親しむ勝であつた、事件が妻の病身なるを突け込んだ譯でもないが、度々なる社交舞踏會でのエテイスとロドニイの顔合せは何時の間にか熱い戀の芽を吹き出すに至つたそして遂に切つても切れぬ仲となつて了つたエテイスは突然とマリアの病床を訪れ涙ながらに苦しい胸の中を打明け總ての持物を此世から取られても是非貴方の良人と添はして貰ひたいと口說き、貴女が拂ふ犧牲に對してはその代價として毎月百弗宛(二百圓)貴方の一生涯を保證して上げ度いと只管頼み込んだ、是を聞いたマリアが何を思つてか稍暫く默つて俯向いてゐたが徐ろに持ち上げたマリアの双眼には熱い涙で一杯であつたが、何か堅い決心をしたもの、如く綺麗な唇は硬く引き締つてゐた、マリアは左手の結婚指輪を脫き取りエテイスの手に渡し只一言『宜しく頼む』といつて泣き崩れて了つた、本事件が今後どう變つて行くか桑港社交界で興味ある問題として大評判である(桑港特信)

羅馬尼皇后 戴冠式

寺院で擧行

羅馬尼亞皇帝皇后の戴冠式は十六日アルバジユリア(トランシルヴアニア)の寺院に於て壯麗なる古典的儀式に則り擧行され各國使節參列した【倫敦十六日發電】

宮內省で英語講座

高官連の勉强振

宮內省では此の程英語講座を作り英國大使館のマクナマラゼウを聘し毎週金曜日に帝室林野局の食堂を教室に宛大谷式部長官白根次官其他宮內省の若手のパリ〳〵が會話の練習に此秋に汗を流して居る(東京電報)

原少佐は上告しない

如何なる處刑を受くるも

早川氏遺骸下關着

十九日朝東京へ向ふ

早川氏墓地決定

お祭りと桃山遊廓 十六日夕からの京城神社大祭で一般景況に入つたのは花柳界で近來稀と客足の[illegible]九錢十八日百十一人。一千八百四十八圓七十一錢三日間合計四千八百八十八圓二十七錢で昔通一日平均は客七十五人揚高六七百圓で[illegible]

一金一圓 同 金完鎬
一金五十錢 同 李大榮
一金五十錢 同 朴初陽
一金五十錢 同 朴詩陽

一金百三十五圓五錢 咸興地方法院[illegible]
同六十一圓五十一錢 [illegible]州地方法院四十五名
同百九十九圓七十錢 京城地方法院[illegible]
同十五圓十五錢 慶南咸安郡十八名
同十圓十四錢 晉州郡十七名
同十五圓五十二錢 西大門監獄
同六十七圓九十三錢 京城高等法院十七名
同七十九圓十錢 釜山監獄百八十二名
同七十圓 大田中學校生徒職員一同
同五十錢 全州地方法院[illegible]所一名
同二十圓 [illegible]一同

片山潜氏

國賓として歡迎

莫斯科より過激思想宣傳員として上海に差遣されたる高尾某は領事館警察部の手に捕へられ秘密裡に嚴重なる取調を受け近く東京に護送せらるる筈尙同人は過激派より莫大なる運動費を受け支那人朝鮮人とも深き關係あるもの、如く同人の談に依れば片山潛氏は露國にて國賓として歡迎を受け居れるも大庭景秋氏は片山氏と意見合はず本年五月より軍事探偵の嫌疑にて投獄されて居ると(上海電報)

米國陸軍大飛行船墜落

米國陸軍飛行船カム號は今朝火災を起し墜落破壞した右飛行船は北米大陸橫斷飛行を終つてカリホルニヤから歸航の途にあつたので乘組員八名は負傷したが生命にかゝる事はない原因は不明で同船は最新式最大の軍用飛行船である(テキサス州サナ、アントニオ十七日發電)

風變りの强盜

書置を殘して立去る

十六日未明神戶市加納町石鈴木朝輝方へ拳銃を突付け現金百二十八圓と貴金屬を强奪した後卷紙に『拙者は貧家は襲はざるが裕福なるが故に金品を貰ひ受けたされど現金は何れ返却すべし』と書き殘して悠々と立去つた犯人は相當教育ある者らしく所轄三の宮署で嚴探中(大阪電報)

中西氏は控訴し

小日山氏服罪す

十六日懲役十ヶ月の判決言渡を受けた中西淸一は控訴した尙小日山、兩人は執行猶豫附の判決に服罪するらしい(東京電報)

京城は私達にとつて新婚生活の思出の都

大分縣內務部長に榮轉する 時永氏夫人の懷舊談

大分縣內務部長に榮轉した時永浦三氏の夫人を永樂町の官舍に訪ふて祝意を表すると、恰も夫君は一ケ月有餘北鮮から浦鹽方面への出張で全く其の留守中の異動だつたので若々しい美子夫人は半喜び半驚きといつた調子で徐ろに『夏以來主人は出張中で其の留守にふと轉任の電報に接しましたので私共には全くの寢耳に水のたとへの通り喜びよりも先にたつたのは驚きでした、さういふ工合ですから轉任の準備よりも只今は主人の歸宅を待つてゐます次第で今夜臨城の豫定ですから其の上で準備に取りかゝる筈ですそれに朝鮮は私共にとつては忘ることの出來ぬ懷しみのある土地で今から八年の昔結婚すると直に朝鮮にまゐり、それから今まで平壤に三月を送りました外ずつと京城で過しましたのでいはゞ結婚生活の殆ど全部が京城であり隨つて只今居ります四人の子供も皆朝鮮産れですから今では却て京城の方が故鄕になつてしまひました、それに又私共でも若い結婚生活地で其の當時は子供はなく主人が山登りや郊外散歩がすきでしたのでよく淸涼里や麻浦あたりに散策しましたものであの朝鮮獨特の靜びく〳〵した情趣は到底忘れられません、ですから今度の轉任も皆嘉から喜んで下さいますが私には此の土地を離れますが一種の悲哀で喜びをいつて下さる度每に悄ない感じが致します』と八年間住み馴れた京城との別れで夫人の談は流石に悲喜交々の態であつた(婦人記者)

日鮮鑛業社長

控訴棄却さる

融通手形を發し廻つて數萬圓を詐取した日鮮鑛業會社の元重役中山佐作は豫て控訴中の處十八日大阪控訴院にて控訴棄却の判決を受けた(大阪電報)

鮮人吳服詐欺

平安北道定州郡阿耳浦面石山洞洪半計は橋安穗と僞名して大阪東區本町外村定二郎方より吳服五百餘圓を詐取り同じ手段で詐欺を働かんと策中船場署に逮捕された(大阪電報)

京城三十五景

締切月末迄延期

朝鮮寫眞協會の京城三十五景懸賞募集寫眞は初めての試みであるに拘らず發表以來各方面より集まりつゝあつて朝鮮人側からも優秀なる印畫を寄する者ある由だが協會では出來るだけ優秀なる風光を江湖に紹介する意味で本月二十日の締め切りを月末まで延期する由

短冊色紙展覽會

日時 十月廿八日(土)廿九日(日)
會場 本社來靑閣

出品は短歌、俳句、川柳、繪畫の(新古不論)に限る◇別に篤志者及び出品者の氏名並に作品に對する備考を詳記し◇讓渡希望者は價格をも併記されたし◇出品保管料不要◇搬入締切十月二十日

主催 京城日報社

朝鮮事情宣傳映畫を各府縣にて公開映寫

東洋協會の宣傳行脚 大阪三重富山其他で

東京市麴町區山下町に在る東洋協會では各府縣の希望に依り平和博覽會にて映寫せる朝鮮事情の活動寫眞映畫を以て引續き八、九の兩月中東京、大阪、長野、三重、富山、石川、新潟、山口、鹿島、香川及び岡山の二府十縣に跨り各地の劇場、學校或は公會堂に於て映寫觀覽に供し專ら朝鮮の事情を紹介したるが其の映寫箇所は七十三箇所、觀覽人員十萬三千二百六十餘名に達し一箇所平均千四百餘名の觀覽入場者ありたる盛況なるが朝鮮事情の紹介としては多大の效果を收めたり尙同協會に於ては今後も引續き將來に於ても右映畫を利用し朝鮮事情の紹介に努むる由

印を捺せと言はれたから押しました

江戸奴の即決不服裁判

既報=府內並木町一〇八藝者江戸奴事白倉キン(三七)が藤本某に濟貸したと云ふので本町警察署で廿九日の拘留の即決處分を受けたのを不服とし正式裁判を仰いだ事件は京城地方法院花村裁判長奈良井檢事立會で六號法廷で十八日午前十一時半から開廷された若い藝者の事件と言ふので傍聽に來てみた人が多かつたが開廷が遲れたので痺れを切らして歸つた人が多かつた、裁判長の後方には若い試補連が十餘名ズラリと並んで傍聽する奈良井檢事は『被告キンは服罪の受書に捺印してゐるから正式裁判を申立つる權利を放棄してゐる者である、其の譯を前以て整理あるべし』と裁判長に向つて述ぶる、キンは大柄の大島の袷に帶は繻珍で時々ハンカチで顏を拭きながら裁判長の訊問に答ふる。裁判長『今職業は何をしてゐる』キン『藝者をして居ます』裁判長『學問の程度は』キン『學校に行つた事はありません、名前丈けは兄さんが敎へてくれましたので漸く書くことが出來ます』と羞さうに顏を紅くするそれから警察署で受書に何故印を捺したか二十九日の拘留に處せられる積りであつたかとの問に『イーエ三日內に正式裁判を仰ぐことなぞは知りません、只印を押せと云はれたので捺しました』と答へた證人として其場に立會つた森田巡査の取調が始まる、同巡査は能く受書の譯も話して聞かせて捺印せしめたものであるから、キンの申立は違ふ、其時にはキンの實母なる宮田イネと一時間餘も相談して『お前どうする』と話して居た位であるから本人は服罪する意志で受書に捺印したものと思ひます』と述べる次に宮田イネを證人として訊問したが結局『キンも私も服罪するとかせぬとか云ふ事は何んだか騷張り判らぬので捺印した次第です』との答辯に裁判長は休憩を宣して正午閉廷し午後續行

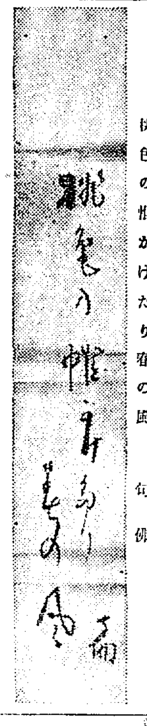
子供服の手入

シミ拔法としまひ方

夏服の汚れ易い時に當つて子供服の手入を記しませう夏の子供服はよく洗つたつもりでも汗が殘つて居て折角の衣も一夏で命がなくなる事が多いのですから注意の上にも注意して洗ひますが其準備として第一にポケットを探つてうつかり何か入つた儘で水につけぬ樣にし次ぎに飾紐やリボン飾釦の類を取外すのはこの種の物に人造絹絲がよく用ゐてあるからです、それから汚點拔きですが子供服には墨やインク泥等が多い樣ですが墨は飯粒米糊を薄くといて少し着けた物の中に入れて揉みとれなければ鳥の羽をジヤボン水で少しゆるめてこすると取れますしインキは早ければシヤボンで取れ痕が殘つたら薄い蓚酸液を熱してつければ拔けます、泥は乾かして揉み落すかブラシで落して痕が殘る樣なら薄いアンモニア水で洗ふとよろしいそして洗濯屋に出すなり自宅で洗ふなり生地に從つて洗濯をします、洗へない物は干しますがその時色の飛びつく樣に好い物は惡い物でも陰干しにし風が通つたらよく塵を拂つてアイロンを掛け折目を正して古新聞に包みナフタリンを澤山入れて簞笥に藏めます、色の變る物がありますし濕氣を吸收して虫もつきますが古新聞は洋紙に石油分のある上にインキが防蟲の効力があるに必ず新聞紙を用ひた方がよいのですそれに必ず毛織物は別の器に入れる事綿織物と一緒に入れますと濕氣が移つて虫に喰はれ易いからです。

大谷句佛上人筆

桃色の帷かけたり春の風 句佛



(本社短冊色紙展覽會出品)

問題の人 原少佐

【下】 岡部生

◆淺田第九師團法務部長の談として新聞紙の傳ふる所によると、原は本年一月二十日午後二時頃單身自動車を飛ばして浦鹽郊外シユルチン半島の南端チエツク軍の押收武器貨車ある十九師の保管地點に到り監視をして居る山原大尉に明朝十九師の貨車を動かすから共司令部の命令を傳達すると云つたさうだ、そして是が軍法會議では司令部の命令ではないもの卽ち虛僞の命令である違令事件であるとして取扱はるゝに至つた。

◆併しながら私は原の爲めに此の事實を信じたくない。何故ならば彼は大膽で豪放な性格の持主であるが左程無茶でない、そして彼の地位は參謀であると云つても當時大尉に過ぎない。進んで單身でやれさうにない事と思ふ。

◆殊に彼は貨車を動かす時期は明朝とまで時刻を指示してゐるのであるが、命令の錯誤としては餘りに急が入り過ぎてゐる。併し最早俎上の魚に至つた內部の經綸とでも云ふべきものは遁れられさうにない。彼は或は止むを得ない犧牲となつてゐるではないかと猜せらる。

◆或は彼が卑しい慾望の爲めに白軍の御大メルクロフに買收せられたのではあるまいかと云ふ者がある。私は親友の名譽のために軍人として此の醜聲のため斯かる噂を信じ度くない。彼には金錢の爲めに節を賣るとなさもしい根性はないことを信じて疑はない。或は又彼は之れに依つて白軍を援助して浦鹽で一大壯圖を企てやうとしたのではあるまいかと云ふ。是も私は信じて居ない彼の性格は誤解を起すには餘りに單純で正直であるからである。

◆私は速かに彼の口より此の經緯を聞きたいものと思ふ。此の經緯が分明して始めて會議は彼を議すべきだ。世上の評判に惑はされて遂に身を釜山港口に投じた彼の細君に向つて私は實に氣の毒に堪へない(終)

走馬燈

◆京城相生町の野田大塊翁の宅へ先夜曲者が推參に及びイザ一仕事と出かけた物音に大塊翁眼を覺まし『誰かい』と九州訛で誰何すると泥坊もさるもの『俺だい』と遣り返し問答の末大塊翁『ウン、そげん位でよかりや有るバイ』で五十錢を泥坊に與へて追つ拂つた。

◆京城府衛生課の技手中野寅吉さんは餘り人に頭を下げた事はないが此の間總督府の觀覽等に行つた時住職の小僧にまで頭をペコ〳〵下げての御愛嬌に物好きが調べて見ると若い頃に住職から借りた金が代主になつた今日でも返へぬので斯くは頭をペコ〳〵

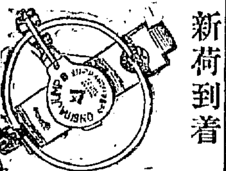
◆此の間出家した社會主義者の娘田中某は赤い氣焔を吐く事をやめて眞面目な生活に入るべく先づそれには經濟上の獨立が必要とあつて神田の緣日に古雜誌の夜店を出してゐる。

『コレラ狀況』十月八日正午より同九日正午に至る各地虎列剌患者發生數は左の如し東京一五、千葉一、茨城二、靜岡一、[illegible]累計四七五

本社見學 瑞興公立普通學校生徒三十六名は竹內校長外教職員に引率され十九日來社、社內の設備作業狀況を見學した

都の花石鹼

米國製けものとるきかい
新荷到着
世界に名聲轟く
米國製捕獸器を使用あれ
◎獸、鼬の類より狐、熊等迄容易に捕れます
◎價格低廉にして堅牢且つ永久に耐へ使用法簡便なり
▲說明書定價表御申越次第無代進呈
米國オニダ會社東洋一手販賣店
橫濱市住吉町一丁目(公園前)
貿易商 吉川米次郎商店 トラップ部



米國製けものとるきかい

城津港防砂堤築造工事
右請負施行ス詳細ハ十月十八日以降朝鮮總督府官報ニアリ
朝鮮總督官房土木部淸津出張所

メリヤスシヤツ
二枚一ト組 一圓五十錢

東京市日本橋區本石町一丁目毛綿物問屋[illegible]谷商店にて今回某倉庫業者の盡分品を引受けた結果極上メリヤスシヤツ二枚一ト組二圓五十錢極上等[illegible]毛物二枚組三圓[illegible]

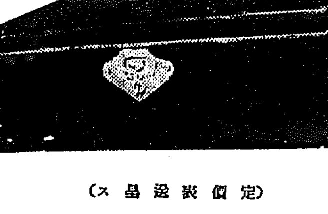
メリヤス
製造 卸問屋 福井商店
名古屋市西區江川横町(電車通)電本二二八七番
メリヤス仕入は主産地名古屋へ
●相場表進呈 ●振替名古屋二五一六番
相場は名古屋が一番安い

堀井謄寫版
營業品目
堀井謄寫版 サイクロスタイル 謄寫版 エヂソン輪轉謄寫版 新案輪轉謄寫版 米國製 毛筆謄寫版 活版印刷 販賣 名刺 文房具 印刷用紙 各種
朝鮮京城南大門通二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話四一〇二番 振替口座京城一〇五八番
本店 東京市神田區鍛冶町
支店 上海・天津

解說書贈呈

京城永樂町二丁目
酒井婦人病院
入院隨意
電話一八三〇番
(商品陳列館裏門通)
酒井一郎

竹內製手提金匣
理想品として賣行き益々旺盛



(定價表送呈ス)
京城 熊平商店 本町

秋季大賣出し
ニトロヨリ三十日マデ
秋季大賣出
割引提供
秋愈々深く季節向の品々愈々數多く整いました吉例に依りまして、既に極度迄引下げられたる定價を更に割引提供仕ります何卒賑々敷御光來の程伏して御願申上げます
◀賣出品目▶
▲セビロ ▲オーバー
▲トンビ ▲ツメエリ
▲モーニング ▲フロツク
▲實用服 ▲其他
▲男女小兒通學服 ▲小供服
▲學生帽子 ▲男女小兒マント
▲女學生マント ▲ヒザカケ
◎實用服 發賣 セビロ三揃三十五圓生地は英國製上等スコツチ裏地は實用的堅牢品裁縫は弊店機械工場裁縫歐米レデーメードと同一品實用を重んぜらるゝ紳士の御常服として又事務家狩獵家運動家の御召服として切に御奬め申上ます
◎婦人コート地著荷 色ラクダ、色ラシヤ、黑シール等の逸品四十圓より八十圓まで各種御注文に應じ申候
丁子屋洋服店
京城南大門通二丁目・電話二三番二二〇番

服罪する覺悟である

原少佐の判決は二十日なるが少佐は如何なる判決を受くるとも上告はせず服罪する覺悟であると(熊本電報)

早川鐵道社長の遺骸は[illegible]等二十分遺骸を列車に移し九時三十分發東京に向つた此の日下の關驛頭は忠吉氏外親類縁者社員に護られ十九日朝高麗丸にて下關着出迎への森理事外數百名の告別式を行ひたる後喪服の紳士淑女は皆哀愁の涙に[illegible]入つた(下關電報)

神奈川縣鶴見總持寺の早川氏の墓地は百坪で電報で買取り方を申込んだ此代價十萬二千圓なりと(東京電報)

攝政宮

所澤航空學校に成らせられ 落下傘試驗台覽

來る二十六日御成り

攝政宮殿下には二十六日所澤に行啓航空學校氣球隊及び落下傘試驗等御覽ある由(東京電報)

王世子、妃兩殿下 帝展に成らせらる

兩殿下お揃ひて御巡覽

殿下には昨今日本畫御稽古中で殊の外御熱心に御覽遊ばされた

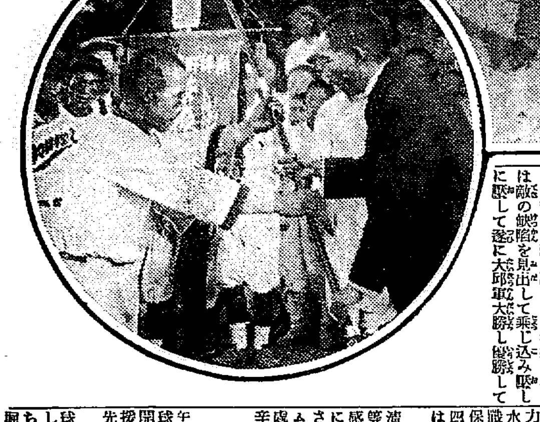
十八日の帝展は朝から雨で入場者少きも午前八時には李王世子同妃殿下御揃ひ自動車で御成りあらせられ黑田院長の御案內で日本畫より順次御巡覽になつた殿下には昨今日本畫を御稽古中とて殊の外御熱心に御覽遊ばされた(東京電報)

貞信盟休

急遽職員會を開き 主謀者を停學

軟派の生徒十名を保護し 硬派の生徒袋叩きにす 鼎の沸くが如き騷ぎ

既報府內蓮池洞北長老派貞信女學校寄宿舍生全部が教師舍監排斥運動及び寄宿舍改善問題を要求し結束を固くして連判狀を作り同盟休校を行ひ學校側對寄宿生の紛擾を釀して居るが十八日午後三時より學校側では餘りに生徒側の意志強硬なるに鑑み緊急職員會を開き種々善後策に就き協議する處あり結局主謀者と認むべき李貞熙外五名を二箇月の停學又成善熙外三十九名を一箇月の停學處分に附した旨各生徒に發表したので同校寄宿舍生徒部は此處に嫉ず憤慨して居る折も折無理矢理に誓約書に記名捺印させられたと云ふ軟派の生徒十名に對し學校側では之を校長室に保護を加へたる爲め他生徒は十名の同僚を袋叩きにした上今度は教師に向ひ『誓約書に記名捺印して居る者に保護を加へるならば自分達にも保護を加へよ』と喰つて掛り鼎の沸くが如き大騷ぎを演じて一睡もせず其夜を更かしたが學校側は翌十九日整理の爲め臨時休校を行ふと同時に停學者は夫々歸鄕の途に就いたけれど更に登校する意志はないらしい



寫眞說明

【上】大田に於ける南鮮野球大會始球式

【下】優勝旗授與式

展覽會もそつち退けて 各教授を歷訪す

工業生徒の裏に高工生か

擧行よりの懸案たる甲種程度昇格問題を提げて遂に蹶起した京城工業學校三年生全部は目睫の間に迫れる展覽會の準備もそつち退けにして登校せず十八日は獎忠壇公園に十九日は南山に集合して協議をなし飽迄も目的の貫徹に努力して居るが此背後には高等工業學校生徒が傀儡して居るもの如く卒業生と相互に連絡を保ち決議文を提へて教授間を訪問して諒解を求め甲種程度に昇格を要求し延いては卒業後の待遇問題其の他を當局に具申せんと策動して居るらしい

不景氣 —が何う影響したか？

公設市場賣上が殖えた

主婦達が現金買をする 九月中の魚の賣上高

京城府公設市場の九月中賣上高は京町七千三百六十九圓餘、鍾路一萬千五百四十九圓餘、明治町二萬四千四百十八圓餘、花園町一萬九千七百八十八圓餘合計六萬三千百二十六圓餘又柴港市場は竹添町二千五百九十七圓、安國洞千四百四十一圓、敦義洞千九百四十五圓合計五千九百八十三圓にして先月に比し明治町は約四千圓、花園町は三千圓餘の增加を來して居るのは如何に各人が家庭經濟に目覺めて放漫な生活狀態を改良しつゝあるかを證據立つるもので一面公設市場の目的を達せられて居るのである京町市場は九月の二十五日限り閉鎖して練兵町に移轉し十五日より開店した許りで各商店の設備も不完全であるがそれでも毎日四百圓位の賣上はあり將來は五百圓以上に上る見込である京畿道管內に於ける九月中の魚市場賣揚高を調べて見ると京城魚市場=五萬一千六百八十九圓、日の丸水產會社=三萬三千九百四十五圓、龍山水產會社=二萬二千九百二十三圓、仁川水產會社=二萬七千六

龍山桃山遊廓の十六、七、八日三日間の揚り高を調べて見ると十六日宿り客百五十七人揚高一千百七十七圓八十四錢、十七日、百七十六人。一千八百七十一圓六十[illegible]平日の二倍以上に上たとの事である

百九十六圓にして合計十三萬六千二百五十二圓である

水害義捐金

一金五十錢　同
一金五圓　同
一金一圓　京城府　成歡運
一金一圓　同　朴箕陽
一金百圓　[illegible]
一金五十八圓三十錢　朝鮮生命保險株式會社員一同
一金[illegible]三十七錢　總督府法務局
黃海道廳一同
一金八圓五十八錢　鄭若永
同四十六圓十八錢　水原高等農林學校
同六十三圓六十錢　仁川稅關
一金百八圓五十八錢　慶南咸陽郡十四名
一金百八圓五十二錢　總督府營林廠百三十六名
一金三十七圓十六錢　釜山中學校二十三名
同十四圓　京城法學專門學校職員一同
同二圓
同一圓八十錢　德源開墾支場一名
同四十三圓二十錢　大邱監獄百四十七名
同七十[illegible]圓二十五錢　勸業模範場四十三名
同十七圓八十二錢　清津監獄四十二名
同一圓三十錢　全州地方法院高敞出張所二名
累計一萬九百五十九圓五十四錢

大鯨捕獲

南陽沖合にて

十四日水原郡陰德面南陽沖合に於て異樣の怪物現れたりとて大騷ぎとなり直に附近の鮮人多數の漁船を出して終に捕獲したが身長一丈三尺胴廻り六尺六寸、重量百五十貫の眞甲鯨なりと水原の尾崎秀八氏が買取り過般來京城に持つて來て十八日から黃金町三丁目角で一般に公開觀覽させてゐる

柴田時永氏

送別會

總督府にては今回轉任の柴田局長及び時永監察官の送別會を官民合同にて二十二日午後六時より朝鮮ホテルに於て開催の筈であるが出會希望者は二十一日までに本府學務課、京城府廳學務係及朝鮮ホテル中に込まれたしと

銀行頭取

大穴を明けて 拐帶自殺

山梨縣北巨摩郡小淵澤村株式會社小淵澤銀行頭取淺川道雄は同銀行に十九萬八千圓の大穴を明けたが去月末大藏省係官監査のため出張し調査したが淺川は答辯に窮し一萬六千圓を拐帶行方不明となつたが十七日千駄ヶ谷地町で自殺して居たを發見し親戚は直に同地に急行した(甲府電報)

南鮮球界の覇權 大邱の手に歸す

此日紺碧の空高く霽れ 南鮮の猛者相搏つ

本社大田支局主催の第一回南鮮野球大會は十七日大田鐵道機關區のグラウンドに於て佐々木高等女學校長の挨拶、永野機關區長の始球式にて正九時試合を開始した。參加チームは水原、清州、大田、大邱の四チームにて先づ第一回の戰端は水原對大邱に始まり水原は高等農林、大邱はドンネル倶樂部の選手である、次の大田對清州は大田は鐵道軍、清州は鮮人軍であつた。先づ大邱は水原を大田は清州を破つて午後二時半から大邱對大田の決勝戰に移り大田始め好守して敵を惱したが老獪大邱軍は敵の缺陷を見出して乘じ込み壓しに壓して遂に大邱軍大勝し優勝して南鮮の覇權を握つた。大邱は曾て本社主催の庭球大會にも優勝し今亦野球大會にも優勝し本社の優勝旗を關本大田中學校長の手より受けて歡聲揚々として引揚げた。此の日觀覽席には伊賀郡守、近藤朝鮮興業、關本大田中學校長、佐々木高等女學校長、永野機關區長、清水東拓等の顏に見えて非常な盛況であつた。試合經過は次ぎの如くである。

第一回戰

大邱十一對水原零

此の試合は大邱軍の長打練習不足の水原軍を混亂せしめ水原瀨戸投手の力戰も空しく勝を大邱に讓つたが、戰つたは學生チームとしての體面を保持するものとして稱讚さるべく、四十歲にも近い大邱吉田老將の奮闘は壯者を凌ぐものが有つた

大田十對清州二

清州軍は鮮人新チームにて練習振り等に依れば大田軍の敵には非ずとの感があつたが、其の投手がプレートに立つや妙技逋出して大田軍の惱まされることも度々であつたが新チームだけに統一を缺き大田軍の乘ずる處となりその間歇的な長打を以つて辛くも二點を占めたのみであつた

決勝戰

大邱十二對大田二

午後二時半陸育協會派遣の松村氏の球審瀨戸多田兩氏の壘審にて試合を開始、アカシヤの木陰に起る拍手聲援に勵まされて大田軍意氣合も凄く先づ守備に就いた

第一回(兩軍零) 大邱林清先づ四球に出でしも戸田の一飛死に氣いらし二盜に刺され原右翼に二壘打を放ちしも溝口の二飛死に終る、大田大堀勝頭左翼に安打して出でしも二盜に刺され杉田振玉井左飛して終る

第二回(兩軍零) 大邱小杉三振呼子三間暴投に生きしも吉田中田の三振に終る、大田關三振の後宮崎二個失に生き二盜せしも宮崎の二個死石橋の三飛に止む

第三回(大邱二大田零) 大邱加藤投飛死林清遊飛失に生き二盜戸田三振原の右翼安打に林清生還溝口の左翼越の三壘打に原生還小杉の三振に止み、先づ二點を先取す大田矢野三振大堀遊飛死

第四回(大邱一大田一) 大邱呼子遊間暴投に二壘を得敵失に一點を入れ吉田平田加藤の三者三振に止み、大田杉田投ゴ玉井三振の二死後關死球を利し宮崎左翼安打左翼の高投に三壘を占め續く高投にて生還し一點を奪還し宮崎の三振に終る

第五回(大邱二大田零) 大邱林清劈頭四球に出で戸田三振原二個高投に二壘を得續いて三盜溝口亦四球に出で小杉三振失高投に二壘を得原溝口續いて生還小杉三盜に死す、大田石橋一飛失に生き矢野左飛し三振して振はず

第六回(大邱一大田零) 大邱呼子遊間高橋吉田死球續いて二盜平田三振加藤四球に出で呼子暴投を得て本壘を伺ひしも成らず林清右飛死大田大堀遊後安打に生き杉田捕飛死玉井遊間に生きしも續く關宮崎の三振に機を得ず

第七回(大邱零大田一) 大邱戸田三振原三度び右中間に安打して出で二壘を盜みしも溝口一個死小杉左飛、大田岩崎左翼に安打し重盜して生還一點を入れ石橋三振矢野二飛死是二個に終る

第八回(兩軍零) 大邱呼子吉田平田杖を並べて三振大田大堀中飛失に生き二盜成らず杉田一個玉井遊間に生き二盜關一個に終る

第九回(大邱六大田零) 大邱劈頭加藤二遊間安打に出で二三重盜し大田軍の陣容亂れ林清四球戸田遊間に併殺を失する間に加藤生還し原三振失に生き溝口の遊間高投に林清生還小杉一二間に安打して戸田原生還呼子二個死の間に吉田の二個失に大田軍は持て餘し氣味であつたが加藤の三振にて止む。大田宮崎一飛死岩崎一個失に生き二盜せしも二盜に刺された石橋の三振に万事休す

文化住宅 懸賞圖案 展覽會

場所　本社來青閣
期日　來る廿一、二日
(來觀歡迎す)

朝鮮建築會では刻下の急務たる住宅改善に資する爲め朝鮮に於ける中流家庭として文化生活に適する『改良住宅設計圖案』を懸賞して募集した所多數の應募者があつて審査の結果多數の良圖案を得たので一般の住宅改善の參考資料として本社樓上に陳列致しました何卒御來觀下さい

文化生活の基調となる 住宅圖案展覽會

明二十一日から二日間 本社來青閣樓上で

目醒めた婦人達の好研究問題

本社後援朝鮮建築會主催の改善住宅圖案展覽會は既報の如く廿一、二日の兩日本社來青閣で開會する事になつたが、各官廳、各銀行會社から參考品の出品もあるので其の內容の充實さは期待されて居る、生活改善上に資する處が多いであらうと一般から期待されてゐる、殊に時代に目覺めた婦人界では亦格別の興味を以て迎へられてゐる右につき

坪內高等女學校長は語る

誠に結構な試みで、本校でも人間生活の基調たる『衣食住』の問題には平素夫々格段の注意を拂つてゐますが、從來の傾勢もあり『住』といふ問題には家事科に於ても夫々教授してゐるがまだく遺憾な點が尠くないので何とか方法を廻らしたいと思つてゐた矢先、今回の御催しがあると聞き、之を機會に、大々的に從來振るはなかつた『住』の方面に就き生徒を開きたいと考へてゐる次第です、自然當日は職員生徒の多數を參觀せしめたいと考へてゐます。尙

妹尾女子高普通校長談

朝鮮民族といふ立場から考へて見ますると、衣の方面は世界の先進國に比しても遜色のない立派な服裝を持つてゐるので、今日迄に內地の様に『改良服裝』の問題は起りませんが『食』の方面に於きましても更々の詳はありますが、彼の經濟なる點格、強健な民族に致しても、そのみ憂慮すべき改良な事項があるとは考へませんが、住の問題となりますと、溫突と云ふ巧妙なる暖房裝置を持つてゐる外には、何といつても殆ど改善すべき點が多いので此の方面に關して吾等は如何なる教育を施すべきか、卒業生大に苦心してゐる次第ですから、是非職員生徒を引率して參觀したいと考へてゐるのであります

心得てゐる住宅が目覺めた婦人界に研究の好目標となられるのも偶然でなく、今回の試みが大々的の期待を以つて歡迎せられてゐるのも偶然ではあるまい

工業學校

成績品陳列會 二十二日開催

京城高等工業學校、工業學校及び中央試驗所の第十四回成績品陳列會を騰光町下の高等工業學校內に二十二日午前九時半から開き午後一時からは公開して各科の製作狀況や參考品を一般の觀覽に供する陳列品の主なものは二十餘坪の家屋を筆頭として化粧品陶器織物漆器等約二千二百點で希望者には投票抽籤法と即賣で頒つと

房子內親王 新嘉坡に御寄港

植物園を御巡覽 總領事の招宴に臨席

御渡歐の北白川宮房子內親王殿下には十八日午前八時同地に御寄港あり植物園を御巡覽、總領事館の晩餐會に御臨席あらせられた(新嘉坡電報)

家計不如意に發狂し ナイフで妻の咽喉を抉る

非常を張つて警戒中 犯人は飄然東大門署へ

高陽郡崇仁面新設里一三三番地林在澤は家計不如意の爲め其日の糊口にも困り常に鬱ぎ勝であつたが約一箇月前より精神に異狀を呈したので家人もそれとなく監視して居た處十八日午後八時三十分頃在澤は鋭利なナイフで妻の陰氏の咽喉部をグザと許りに突き刺した陰氏は悲鳴を擧げて其場に撲と打れて即死した急報に接し所轄東大門署では司法主任佐藤警部部長現場に出張詳細なる檢視を行ふと同時に非常線を張り加害者の行方嚴探中の處十九日午前七時十分頃知らぬ顏を極め込んでブラリと東大門署へ出頭したと

財務總動員！

各戸を訪問し

府吏員に府民の實際生活を見聞せしめて納稅率の增進を計る

京城府財務課では來る二十五、六日の二日間早朝から日沒まで課員を都て約百名の總動員を行ひ各納稅者に接觸し實際生活に接觸して府當局と府民との融合を計ることとなつた右につき長尾財務局長は語る

京城も外觀は大都市であるが內實は外觀に添はない依然舊態を改めずに居るので市民教育の要がある殊に最近納稅に於て殊にその必要を認めることの十月は市街地稅第二期納稅者二萬二千人學校組合第三期戸別割一萬八千人其他を合し四萬人この稅額四十幾萬圓に達するからこの機會にこの企を行ふのである

厭世自殺

妻を離緣され 昇汞水を服す

十七日午前五時頃高陽郡崇仁面安岩里一五番地の開運寺內林鐵方で寄寓中の宮井洞一六番地戸主中性琦の長男趙召が口中より頻りに泡を吹き苦悶してゐるのを家人が發見し應急手當を施したが間もなく絕命した係官檢視の結果同人の洋服ポケットに實父が自分の妻を離婚させたので常に家內に風波を生じて兎角面白からず遂に浮世を悲觀し實兄の許より藥科用昇汞水を持出し厭世自殺する旨の遺書一通が發見された

赤十字 救護員派遣

赤十字社朝鮮本部にては平壤に於けるチブス豫防撲滅の爲去る九日救護看護婦二名を派遣したるが本日更に京畿道衛生課會出技手を臨時救護員に委囑し平壤に特派した

善隣校運動會

善隣商業學校にては來る廿二日(日曜日)午前九時より同校々庭に於て秋季運動會を擧行し一般父兄家族は勿論卒業生の來觀を歡迎する由

三越子供服の革命

醫育に專心意を注ぐ米國紐育で二十年間子供服の研究に沒頭して居た原女史が三越本店仕入部に招聘せられて彼地より子供服の調製に付て吾國の適任者として當つて居ります其子供服を一堂に集めて京城三越の催しとして御覽に供しますから在來のありふれたものと違つて文化的の催物として見逃してはならないと思ひます(三階)

文化的子供服陳列會

自十月二十一日 至同二十三日

三越のショール

そろく寒さが迫つて參りました今日此頃大阪東京の最新流行のショールも全部出揃ひました價段も昨年よりはずつとお安くなつて居ります(一階)

實用的純毛ショール　金參圓九十錢

筑前琵琶 旭會記念演奏會

橘宗家出演

京城筑前琵琶教師會は昨年橘旭宗を中心とせる旭會なるもの出來して以來同流中二派に分れ爾來教勢不振を招き各教師間に於ける溫習會開催の如きも至つて稀で今日の情勢にては斯界の向上發展到底期すべからず依つて今回旭會にては同會創立三週年に相當せるを機とし東京より宗家橘旭翁夫妻を招き二十二、三の兩日午後五時より長谷川町公會堂に於て旭會創立第三週年記念演奏大會を開催する由なるが兩日とも無料にて出演教師は村旭汀、本多旭映、吉田旭翠、山宮旭紅外約八十名なりと因に宗家橘旭翁の第一日の曲目は『石田三成』橘旭紘『秘曲謹正』第二日は旭翁『伽羅の兒』旭紘『梅田雲濱』なりと

印鑑紛失廣告

(一)印箱長五寸巾三寸高さ三寸色茶色木箱(一)水晶實印店印認印店印(金海商店印)店印長形ゴム印右六角木浦鎭南浦印に於て紛失致し候間十月十日以後は何人が之を使用するも無效とす尙右印鑑御拾得の方より左記へ御通知又は御屆被成候時は相當の御禮可仕候

鎭南浦旭町二十二番地
金海商店
金熙善
(電話四四一番)

毛絲

編物用毛糸
スコッチ各種
メリヤス用及
織物用毛糸
染綿糸各種

杉彦合資會社

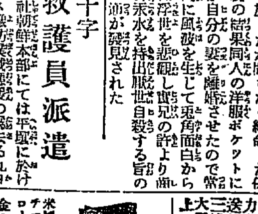
○キユポン！ キユポン！
買物するなら
品がよく値が安く
オマケに
景品を差上げる
景品引替所
明治町電車停留場角

大キユポン 陸 加盟店

賣地廣告

一、本町三丁目二十二番地 坪四十坪
一、大和町二丁目大通庭園附 坪二百五十坪平屋二棟付
一、北米倉町二十八番地 坪五十坪平家一棟
一、東四軒町三十七番地(高燥の地) 坪六百坪朝鮮建二十二間
一、樂園洞パコダ公園奧廣場 坪二百八坪平家一棟
一、黃金町三丁目本願寺通り横入る
一、若草町高燥の地 坪三百坪分割賣却
一、黃金町三丁目二階家一棟
一、永樂町二丁目大通り横町 坪五十五坪
一、同 ツ角北大通 坪四十八坪

右賣却す御希望の方は
電話本局一八四番
秋葉



米國製 チヨコレート色 ロータス革
金九圓五拾錢 短靴
金拾圓五拾錢 編上靴
型錄進呈 郵券二錢要
東京市芝區愛宕下町四ノ一 (市電愛宕下町下車)
龜田靴商店 電芝二二〇二

流經新藥 レスノリン 月經

閉止四五ケ月以內に確實に作用を以て流容易なく應効の目的を達し得られ價一瓶貳圓五拾錢送料四五錢切手添申込は說明書呈
振替大阪三一四二番
大阪北區曾根崎上二丁目三六番地
常盤藥院

エビンルード・モーター

縱舟用取外自在
漁船・和船に最適當
登錄商標 米國製
二馬力・三半馬力二種

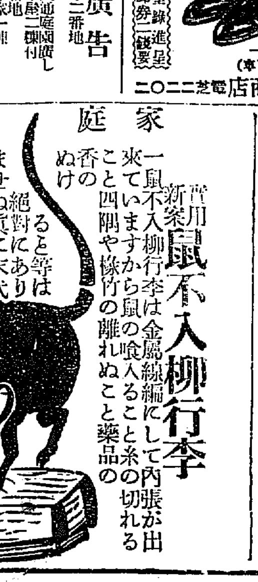
□船用六馬力以上發動機
□移動式材木切斷機械
□自家用、船用電燈機械
□エビンルード・ポンプ 消防用 灌漑用 排水用 五十呎以內

東洋總代理店
東京市京橋區南傳馬町三丁目十四
輸入商 (電話京橋四一一二)
日之出商會

家庭福音

實用新案 鼠不入柳行李

一 鼠不入柳行李は金屬線編にして內張が出來ていますから鼠の喰入ることと糸の切れること四隅や條竹の離れぬこと藥品の香のぬけること等は絕對にありません末代迄の道具でありますから鼠の不入行李は到る處の商店にて販賣してありますから御試用下さい



製造元 忠淸南道公州本町
朝鮮興產株式會社公州支店

地方青少年諸君の好職業

▲年齡が若いからとて父兄を頼る許りが能事でない一番獨立獨行の途を打開せよ▲本社の依託する業務は地方に居て誰にも出來る(保證金不要)▲業務は簡單で高尙な家業で副業にも充分出來る而して收入多大▲ハガキで東京小石川戸崎町第一出版社へ申越次第詳細なる案內書を急送す(但至急を要す)

最も完全に染る

赤毛が染る 君が代
本品の特色 髮洗わず其儘染る 染法輕便二十分間染る 毛質を害さずチヂレ毛を直す 染色自然の黑髮に永く保つ
全國藥店にあり無くば本舖へ
東京 本舖 山吉商店

ストーブ ニ關スル警告

多年弊社直營工場製作ノストーブハ數年ノ實驗上既ニ定評アリ年々輸出增加セルハ多大ノ賞讃ヲ受ケ需要家ノ滿足ヲ得ルノ證左タリ近來此ノ好況ニ乘ジ從來當社ノ特製品タル
ニッケル四本足付胴張ストーブ
クラウドストーブ各號
ヲ內地又ハ朝鮮方面ニ於テ模倣製作販賣セラル奸商アリテ石炭同セラル場合ハ弊社ノ迷惑ノミナラズ需要家ノ損害不少左記商標ニ注意ノ上御投命ヲ給ハランコトヲ乞フ

日本政府 登錄商標 HH
弊社製作ストーブニハ必ズ上記商標ヲ見安キ場所ニ鑄出アリ

日本政府 登錄商標 H
弊所製作胴張形三本足ストーブ專用商標

大正十一年十月
大阪市 株式會社 ヒシヒラ商會
受電略號 オサカストーブ
販賣店各地 金物店 洋家具店 洋雜貨店 事務用品店

安中草三郎

第二八回

猫遊軒伯知講演

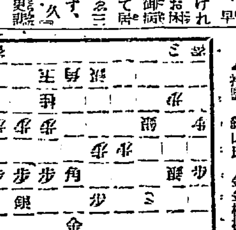
朝鮮の人蔘

傳『兄哥此女を連て行きねえ、置いて行くと又泥棒と喰ッ附くから…』郎『ウンそれも酷うだな、俺と一緒にお處刑になるのが覺悟なら一緒に行きねえ』大膽不敵の鐵五郎、早速身支度をいたしおさとを連れて此家を立出で、逆井の渡し場まで行くともう充分に手配りが届いて渡口に張り込んで居るのは探偵らしい、漸くの事でテカの眼を潜り、渡しを越して何れへか逐電いたしました、扨此方は呉服屋ではおさとは何處へ行つたか夕方になつても歸つて來ないので、段々探つて見ると梳屋に居た二人の悪者と旅へ立つたと云ふ『扨は彼女が手引をして泥棒を自宅へ入れたか、そんな女と知らず今迄女房に爲て居つたのは此方の不運何といふ運の悪い事だと無念殘念と氣を遣つて手先を頼み諸方を探したが更に行方が知れません、七百兩と云ふ罹の金を取られ二進も三進も始末が附かず翌年早々店を仕舞つて元の坂本へ引込み、小さな店を出して居りましたが、それもどうも思ふやうに繁昌もせず間の悪い時は仕方のないもので、不圖した事から主人久兵衛の腰が痛み出し、只今で云ふと脊髄病とか僂麻質斯とか云ふやうな病氣で、物は喰べられたが立つことが自由にならず、漸く娘の肩に捉つて便所へ參るやうな譯で、其店も矢張り餘儀なく堀明寺店の裏屋へ引込み、當年十六歳になる娘お節の丹精で漸う其日其日を送つて居りますが病は益々重くなるばかり、或る日の事ピユウく と霙混じりの北風が吹いて顫へ上るやうな日、お節は薄暗い行燈の燈明を便りに手内職をして居ります、と、今までウトく寝入つて居た親父が目を覺し 久『お節やまだお前は夜業をして居るのかえ』節『ハイお父さん能くお藥が煮えて居りますがお飲りなさいますか』久『忝い、お前にばかり苦勞を掛けて濟まない、早く死にたいと思ふが時節が來なければ死ぬ譯にも行かず、嘸お前がお困りだらう』節『何うかお父さんの御病氣が早く癒るやうに神信心をして居りますが、思ふに任せぬ世の中ゆゑ三度の食事も碌に上げる事も出來ず、私はどの位苦しいか知れません』久『お前がそんな事を云ふと俺ア尚更悲しくなる、俺が生きて居るばかりにお前は碌く事も手に持つことも出來ない、俺さへ居なければ何うともお前は身の振方が附からうもの、早く死にたいと思ふけれども業と云ふものは恐ろしいもので、こんなに瘦せても未だ死ぬ事が出來ない』節『アラそんな勿體ない事を何有るものぢやアございません、あのお醫者様の仰有るには、阿父さんの御病氣は朝鮮人蔘を飲めば癒ると斯う申しますが並のお醫者様のお家にはないさうでございますが、何うか阿父さん一つ私の願ひを叶へて下さいませんか』久『叶へて與れつたつて、こんな貧乏世帯、何一つ買つてやることも出來ず、併しマア年頃だから斯う云ふ縞柄の着物を着たいとか、ア、云ふ簪が挿したいとか云ふこともあらうが、今ぢやア何うすることも出來ない、何んたる因果なこと——』と涙に暮れて居ります 節『阿父さんそんな淨いた事ぢやアございません、何うか阿父さんに朝鮮人蔘を上げたいと思つて——』久『併し朝鮮人蔘は一稈三十兩もすると云ふ話し、迚もそんな藥は飲めるものぢやアない、寧そ死ぬ方が宜い、ア、早く死にたい』節『阿父さんそんな弱いお心をお出し下さいますな、御病氣がなほると云ふのですから何うか私を廓へ賣つて其の身の代金で朝鮮人蔘を買つて喫つて下さいな』久『ナニ節へ身を沈めると、飛んでもないことを云ふ、そんな悪醜なことが出來るものぢやアない』

皮膚科 花柳病科 外科
ヘーマ醫院
龍山兵營町京龍電車南營通角 電話龍山八二四番

將棋新手合〔六〕

於釜山西町松永新設氏宅 蒔呂木七段歡迎將棋會席上
飛角香交 △七段 蒔呂木光治(東京)
飛落香 ▲三段 鮎山福次郎(金山)
(圖は前號指了迄の局面)
▲持駒 鮎山氏 金金桂桂歩



▽四三飛打 ▲六九飛 △六五金 ▲八八角 △三八と ▲六六桂 △四八と ▲五四金 △六三歩 ▲六七桂 △八二桂 ▲七五歩 △同金 ▲六四歩 △六六金 ▲一一と △五六歩 ▲六四歩 △同歩 ▲五五桂 △同金 ▲同金 △三五角 ▲四六歩(以下次號)

人蔘王
京城本町壹丁目 電話一四八〇・一七〇〇番
津村兄弟商會

▲大株京電社長の談として京電株式十八萬株中鮮内在住者の所有株數僅に二千株とは驚く會社の基礎も知らぬ内地の株主は御苦勞さま(心配生)▲京電の新設電車にブレーキ悪く吾等運轉手には御設の方がよろしい定員七十五人は無理で御車の五十人に比し六十五人が相當ですブレーキは吾等の生命ですから今後の製作は御設の方を希望します(運轉手一同)▲京城公立小學校新築校舍建成には父兄側より遂に火の手を擧げたが此事は斷に父兄間の問題でない府民全般に渉る實に重要問題である半島の首府であり醫藥の中心地點である京城に未だ一個の公立醫藥學校のあらざりしは府民の大なる恥辱である當局は既に學校組合設立に於て協議を得置きながら經費がないとか適當の敷地を得られぬとかで今日迄閑却して居たのは爲政者の怠慢だしきものである他の事は後廻しでも此種事業の為には例令府債を起しても速かに達成を圖るべきである(一府民)▲記者さん私は近日京城見物に行きたいのですが動物園は何の日と何時から見物が出來ますか(平壤一讀者)△毎週木曜日の外なら何時でも見られます時間は午前九時から午後四時まで▲理科的物理療法の冷熱浴及エツフルビウム療法の中にある禿頭病の毛生えには何回位の施術を要しますか(逍遙生)△患部の面積に關係なく其の侵される程度に輕重が有りまして一回にも大變相違が有りますが早いのは七八回遲きも二十回位で生ゑて來るのが普通です塗布藥は醫師のものが最も安全です(係)

關釜連絡船

山發 午前八、六、 午後八、三〇分

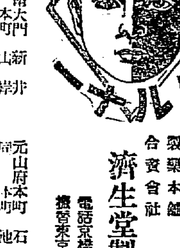
二十日 朝、景福丸 夕、高麗丸
廿一日 朝、對馬丸 夕、新羅丸
廿二日 朝、景福丸 夕、昌慶丸

體内から出る自家中毒性の
ニキビソバカス 色黑性と吹出物
五大博士大家の協力研究せる根本式治療法書無代で進呈す

子供の間は色も白くニキビやソバカス等は探しても見付からぬ程の美しい容色であつたのが十四五歳の頃から段々變化が來て色も黒くなれば、ニキビ又はソバカスが吹出して殆ど見違へる程醜悪な顔色になつて了ふのは如何なる理由であろうか…… 皮膚疾患は總て外皮の疾病と考へられて居たのであるが最近進歩せる醫藥學上から研究發表された處に依ると之等の皮膚障害は氣候風土の關係で腸管内に於ける食物等から自家中毒を發生し多量の悪血毒素を構成したものが青春時代の内臓的變化作用に依つて自然體外に吹出すもの故舊式の化粧液等では絶對に治る筈がない……之れは何うしても體内から治さねばならぬさて歐米にては遂に獨得の内服藥を發明しドシく治療した爲め現今にては殆ど路傍に醜ひ男女を見掛けぬと云ふ事である……

如何に効力絶大なる外國藥でも食物や氣候風土の異る我々東洋人には少しも効めなく却つて髪の毛を赤くする等と云ふ危險があるので我國醫藥學界に於て名なる藥學博士高田耕一先生越澤先生其他の五大博士大家が我々東洋人種の爲めに特に協力研究して漸く内服に依りて科學的に體内の悪血毒素を浄血しニキビソバカスを治して色を白く美くするハルナーと云ふ藥物を發見したのでありまして今やハルナーは左記特約御賣藥店を初め東洋至る處の藥局藥店にて其絶大なる効力を確認し賣出して居りますから是非御求めの上御試驗下さい……又我五大先生がハルナーの研究と共に協力著述された頗る美本「色白美身強壮法」は何人にもハガキ一本の申込みで喜んで無代進呈します、此本には人體と血液の關係、皮膚障害と血液に就て、ニキビソバカスの除去法、色を白くする法、抜け毛止め法、皮膚と臓腑等疾、花柳病等の關係等女も男も是非知らねばならぬ事項網羅記載してありますから、ハルナー藥の使用は既に此本だけは必ず讀まねば御損です、本たけ御入用な方はハガキへ美本送れと書いて直接發賣元へ御申込下さい喜んで無代で進呈致し升後とて云へば忘れる事があります直にハガキで御申込あれ……

登録商標 美身白色藥 ハルナー



東京市京橋區築地一の四
製藥本舗 合資會社 濟生堂製藥所
電話京橋一〇二七番 振替東京一七〇二九番

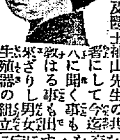
代理店

其他全國到處藥店にて販賣す

○性慾學大家 澤田順次郎先生著 ◎菊半截美本 三百五十頁 頗密圖入

男女生殖器の構造

▲空前の秘書 ▲青春男女の心得置くべき新研究



男女生殖器病自宅治療法 特價壹圓廿錢

正文社

昔から名高い 小兒良藥 樋屋奇應丸

到ル處ノ藥店ニアリ

可愛いお子達の御養育には必ず御用意遊ばせ
かん、むし、ねつ其他小兒の諸病に奇効あり

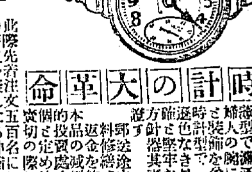
大阪天滿橋北詰 本舗 樋屋合資會社 振替大阪二二六〇

肩掛 首巻 一式卸

物價引下ノ魁 カタログ贈呈

大阪市東區淡路町心齋橋筋 今田商店
電話本局一四五三番 振替大阪二七二五番

實物現型



腕巻時計の大革命

純金側流行十型 減價壹圓六拾錢

無代進呈

アンクル商會

男女衛生具 サック

本邦唯一の精良品

丁子堂

★星印ソース

早くから舶來してゐたが一部の階級にしか向かぬ程の高値を稱へてゐたもの それを壜詰で舶齎する方法を講じたからさゝやかな家庭の食卓にも上し得る様になつたのです

輸入發賣元 株式會社 祭原商店
大阪市東區安土町四丁目

石鹸界のレコード 高級化粧用

使ふほど肌をよくする

レコード石鹸

本舗 東京本所 スタンダード油脂工業株式會社

世界的の白キヤラコEFを使用する福助足袋

白さ

においても、地質においても、決して他にひけを取らぬ英國製EF印白キヤラコを使用する福助足袋は

洗ひ晴れ

のする點が何よりの評判となり、福助でないといけないといふ聲が愈々多くなりました

福助足袋株式會社

[illegible]の協議は去る八日の倫敦會議以後惡化せず同會議の[illegible]は聯合國の伊國を援けて[illegible]の支拂額を輕減する事として賠償問題を解決する希望にし今や聯合國は該問題をブラッセルの英、佛、伊の會議で解決すべく同意せり

【アテンス十四日發電】希臘官憲がムダニヤ會議の休戰を承認せるにも係はらず二大隊の希臘隊は戰線に突進せり又軍隊の再組織は希臘人間に熱狂的に行はれ居れり尚スレース撤退も容易ならしめる爲めに徴發せられし糧食は軍隊軍需品及び希臘の所有にかゝる七萬五千噸の小麥をス[illegible]

滿期前に先づ處分せよ
支那の武器問題態度

【京東電報】外務省にては今尚北方の國境を通過して少なからぬ武器を輸入しつゝあるが其武器は決して統一せるものにあらず[illegible]り而して日本より新[illegible]に赴き牧野大佐と張宗昌氏との行營に對し何故に[illegible]分せざるや武器問題に就し言明をなすに方りても先づ軍事當局間の取調[illegible]分をする事が先決問題なり之を實行せざる限り日本政府の態度を疑はざるを得ずと[illegible]し居れるが支那政府は本件に對して何等の措置をとらず[illegible]

英總選擧は已むを得ず

【倫敦十六日發電】ジョージ氏[illegible]正確なる筋にて傳へらるゝ處に依れば[illegible]ならんかそは今次の中に歸する事なり

貸出增加
京城上半末金融

京城組合銀行に於ける十月十五日現在の預金合計は七千七十七萬三千八十四圓貸出合計七千五百六十二萬五千八百八十圓にして之れを前月末に比すれば預金に於て三百七十餘萬圓の減少貸出は百二十七萬九千餘圓の增加となれり即ち十五日現在次ぎの如し

▲預金

定期預金	三七、〇〇二、三二五
當座預金	一〇、〇三八、九一九
特別當座預金	一一、〇六七、四八四
諸預金	一一、八六四、三五六
合計	七〇、一七三、〇八四

▲貸出

貸付金	三三、九五六、五〇九
當座貸越	四、〇九九、五八六
割引手形	二二、四一一
荷爲手形	三七、三五七、三七四
合計	七五、六二五、八八〇
有價證券	三〇、六七九、八四四
預ケ金	一、四〇六、七五三
金銀在高	二、三七一、四一二

即ち預金は前月末に比し總預金約二百萬圓定期預金五十九萬餘圓、當座預金九十五萬餘圓特別當座預金三十餘萬圓孰れも減少せるも貸出は割引手形百十四萬餘圓其他多少の增加あり前月以來割引手形の漸增傾向あるは注目に値すべきも大體に於て貸出額の膨脹するは市況の恢復の途に向ひつゝあるものと見るを得べし

るのが至當ならんとの説もあつた同[illegible]れにせよ株主からは役員に一任された問題であるから仲買としては今後に於ける役員會の態度を待つの外なきが如し

金融組合業績

京畿道金融組合聯合會の調査に依れば京畿道内村落都市を合し四十五ヶ組合の貸付高は村落三百五十一萬八千三百六十二圓都市二百一萬七千八百四十五圓合計五百五十三萬六千二百七十圓にして借入金は村落二百二十三萬五千九百三十八圓都市九十八萬九千七百三圓合計三百二十二萬五千六百四十一圓なるが之れを八月に比すれば貸付金に於て村落九萬九千九百三圓都市四萬一千六百六十二圓合計十四萬一千五百六十五圓借入金に於て村落四萬九千二百三十一圓都市二萬八百十三圓合計七萬五千六百十三圓の增加を示し幾分か財界恢復の氣配あるも金融逼迫は同步調にありと

綿糸伸悩
當分保合か

折角擡頭した綿絲布界も銀塊下り歩調に祟られ再び惡化傾向となり內地筋は一寸悲觀の態であるが米棉だけは相變らず強調で二十三仙と上つたので綿絲筋は之を唯一の望みとして居る。朝鮮は各地品薄の爲め弱々相場ながら先買契約が出來るので內地筋には逆襲して居ない、目下三品は二百十圓がらみ現物三エ一二百五十五圓細布十二圓六十錢である、大體は當分小高下の保合で、支那市場への輸出は本邦相場より見る時は二百十五圓であるが二十圓三十圓となると怒り聲を叩かれる模樣で伸び悩みと云ふ狀況である。

米價維持運動

【東京電報】米價維持に關する運動方法を協定する帝國農會の總會は二十一日から四日間本部に開かれる事となつたが今度の總會に於ける中心問題は米穀法運用に關する事項である即ち先般帝國農會が發表した九百十萬石の本年度の豫想收穫から若干米價低落すべきを見込み之が維持低下防止策として政府に米の買上げを要求し若し容れられない時は全國の農民を結合して米の大同團結と云ふ直接運動を開始し米價から生産價販の非常手段をとると

仁取手數料引上

十八日の仁取株主總會にて日仕舞手數料を二圓引上げる事に就いて諮られたが結局役員に一任なす事に決定して閉會を告げた事につき之れは仲買組合からの要求で京城や阪地の手數料に倣ひ日仕舞と本建の區別を撤し全部一定の手數料に改め其分を仲買の收入とせん意嚮なるも取引所としては此の際日仕舞を廢して本建の手數料通り百石に付き二圓引上げるは穩當でないのみならず取引に影響なしとも計り難きより先づ一圓丈け引上げ其れを仲買人の收入となし半期の營業成績を見た上で仲買組合の要求通り日仕舞を廢するか否やを決定する

內地財界近況
天日京信社長談

大阪東京を視察し十八日歸城せる京信社長天日常次郎氏を訪へば內地の財界近況に就き左の如く語る內地の財界は相變らず不況の域を脫しないが一般の觀測する處に依ると本月及來月は不況のドン底である、而して十二月は愈最後の決算期であるから十一月が極度の不況を呈するだらうが漸次好調に向ふものと思はれる、併し此不況が何日迄持續するか甚だ疑問であつて

真面な事業

を爲す者は徒々著しく殊に銀行の如きは甚だ疑問であつて銀行會社の整理の外は一頭債用を手繰へて居る大阪の大商工業地だけに好景氣時代には他所より著しく景氣がよかつたが一度不況となつてから又一段と悲慘な狀態に陷つてゐる併し都部の小銀行は其の使途に困り大阪の大銀行を通じて貸出を爲し居るやうだ東京は大阪と異つて商工業地以外に實力があり大地主が多いので更に有力な大阪より融通が利くやうだ次に米價問題であるが大阪は現に七十萬石の在米があつて定期を壓倒して居るが

新穀の出廻り

と共に逐次消化されるであらう即ち古米は新米に比し割安である先般大阪で陽分安米を出したが之れは銀行の處分物であつた様だそれから自分が京城の持株を內地に賣捌きに行つたと云ふ話もあるらしいが自分の持株は他にあつたのでそんな噂は全く知らない、

勸信株主總會

朝鮮勸業信託會社にては既報の如く來る三十日午後二時長谷川町京城公會堂に於て第一回定時株主總會を開き左の營業報告利益處分案議決の件を附議する由

一、十三萬五千六十二圓三十八錢　當期總益金
一、五萬五千九百八十六圓六十八錢　當期損金
差引
一、七萬九千七十五圓七十八錢　當期純益金
利益金處分案
一、四千圓　法定積立金
一、一千圓　創立費銷却
一、七萬三千六百圓　配當金（一株[illegible]）

横濱生絲相場

十八日　注文期日切迫したる爲め止むを得ず買出でし模樣なり十四五萬斤位の手合出來すべき模樣なり安値ながらに當用口の買物あれば此米非常の安値となることもなかるべしと思ける　信州式州格二、八〇圓

鮮銀券週報

十月八日より十四日に至る鮮銀券平均發行高は八千二百二十五萬二千八百五十圓にして此内鮮外發行高二千四百萬三千六百七十圓正貨準備發行平均高三千二百十九萬八千十圓保證準備發行高五千六萬二千四十圓週末發行高八千百七十三萬七千百六十一圓なりと

金[illegible]に付金三十一錢八厘年六分強
一、四百七十五圓七十八錢後期繰越

商品市況（十九日）

洋釘（手堅し）需要期の關係にて商內擡頭せしため近來手堅き商狀を呈してゐる洋釘は相場落著の態にて時組合十二圓三十錢處を唱つてゐるも氣配は手堅い

亞鉛（昂騰）需要擡頭に拘ては在荷薄にて相場は頃來引締りを見引返歩調に一轉せる亞鉛は遂に丁亞鉛二十二圓三十錢紙亞鉛廿三圓を唱へて強硬を呈してゐる

和洋紙（チリ安）例年ならば十月に入り活況を呈する和洋紙界は財界の不況及び近來專ろ物價調節の聲に脅威され漸落歩調を辿り本年最高時に比し約一割乃至二割の下落を見先行尚樂觀を許さゞる狀態にあり相場は洋紙の模造紙舶來物二圓四十錢和製同印刷紙二圓四十錢內外同摺物一圓九十錢ザラ紙五圓五十錢乃至六圓五十錢和紙內州物判紙三十圓美濃物四十圓還紙機械物二圓五十錢處の唱へ

綿絲布（強硬）引續き米棉高を入れ三品相場の暴騰を移し現物品薄にて市況は堅し其の成行相場左の如し

粗布三三エ一二百五十八圓九龍二百五十三圓大エ！二百四十三圓金剛二百二十二圓金閣二百十二圓双鹿百八十五圓網布飛大(13)十二圓四十五錢世界鳥十一圓七十五錢晒金巾進軍十一圓九十錢金鼎十二圓八十錢細綾屋面16二百五十圓双女10二百三十圓晒木棉竹一圓三錢

鮮魚（暴騰）品薄に買人氣活況を呈し爲昨日に比し倍以上になつたものもあり一般に二三圓より五六十圓處も昂進した其の主なるもの左の如し

鯛三十五圓小鯛四十圓車海老百七十圓ひらす二十圓鰆二十圓鮒八圓あち十一圓たこ十五圓はも十二圓鮑三十圓にべ十五圓さより十五圓ます三十圓

麥粉（強氣）財界不況と賣行不振のため過日七八十錢方の下値唱へとなり本品界は其の反撥を受け一二十錢方の昂伸を見たるがそれでも先日よりは一二十錢より三四十錢方の下値を見て居る行先は幾分なりとも高見越の商狀にて強氣筋當持て居る相場としては雪印三圓六十錢二匹三圓六七十五錢双嘉四圓五十錢強膨三圓九十錢四圓處の唱へてある

棉（次第安）需要季接迫に拘らず其の割に需要者なし最近至て閑散裡に經過して居るため相場は次第安を辿るに至り布團綿上四圓三十錢中綿四圓八十錢と一二十錢方の次第安を見せて居るが今は底値時かとも思はれ之れより下値は望まれない樣である

雜記帳

▲不渡手形で銀行から取引停止處分を受ける者が増加して來たやうだが歳末接近と共に益々增加するかも知れぬと某銀行家の話だ▲財界も今が不況のドン底だと云ふ者もあるが不況の詰めは此れに入らねば解らぬと云ふ者もある▲上半期末の組合銀行帳尻を見ると貸出は漸々膨脹し來たる大事業界は相變らず不振の極にあるから貸に警戒嚴重を避つてゐるが銀行の貸出增加は一時的の現象であるのは何時の事だか見當が附かぬ▲銀行の貸出增加は一時的の事象だらうと云ふ意見が多い▲朝鮮も定期と正米の鞘が段々近づいて來るやうだが今の處相場は全く內地次第だ、

株式（十九日）
現株中値出來値

銘柄		前場 今週物	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄引	五一・六〇	五一・六〇	…	…
仁取	寄引	三六・〇〇	…	三六・一〇	…
同新	寄引	四〇・八〇	…	四〇・八〇	…
鮮銀	寄引	八一・〇〇	…	八一・〇〇	…
同新	寄引	…	…	…	…
殖銀	寄引	四六・一〇	…	四六・一〇	…
同新	寄引	一一・一〇	…	一一・一〇	…
式銀	寄引	一一・八〇	…	一一・八〇	…
商銀	寄引	四三・五〇	…	四三・五〇	…
同新	寄引	三〇・六〇	…	三〇・六〇	…
漢銀	寄引	三九・五〇	…	三九・〇〇	…
同新	寄引	九・〇〇	…	九・五〇	…
韓銀	寄引	三三・〇〇	…	三三・五〇	…
東拓	寄引	四五・五〇	…	四五・五〇	…
同新	寄引	二二・五〇	…	二二・五〇	…
鮮土	寄引	二六・四〇	…	二六・四〇	…
朝紡	寄引	九・五〇	…	九・五〇	…
滿毛	寄引	七・〇〇	…	七・〇〇	…
京電	寄引	五三・〇〇	…	五三・〇〇	…
瓦電	寄引	二〇・〇〇	…	二〇・〇〇	…
釜商	寄引	一三・五〇	…	一三・五〇	…
朝郵	寄引	五五・〇〇	…	五五・〇〇	…
殖鐵	寄引	六六・一〇	…	六六・〇〇	…
中鐵	寄引	三五・〇〇	…	三五・〇〇	…
同新	前後	八・〇〇	…	八・〇〇	…
滿鐵	寄引	一〇一・五〇	…	一〇一・五〇	…
同新	寄引	三一・〇〇	…	三一・〇〇	…
東亞	寄引	…	…	…	…
同新	寄引	…	…	…	…
京信	寄引	四〇・一〇	…	四〇・一〇	…
同新	寄引	…	…	一二・八〇	…
現信	寄引	…	…	…	…
穀信	寄引	一二・三〇	…	一二・三〇	…
乙の部					
安取	寄引	…	…	…	…
華取	寄引	…	…	…	…
大新	寄引	…	…	…	…
上取	寄引	…	…	…	…
新東	寄引	…	…	…	…

短期取引銘柄

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	五一・五〇	五一・四〇	五一・五〇	五一・三〇
京取	後	五一・五〇	五一・四〇	五一・五〇	五一・四〇
仁取	前	…	…	…	…
仁取	後	…	…	…	…
同新	前	四〇・七〇	四〇・六〇	…	…
同新	後	四〇・七〇	…	…	…
大新	前	八四・六〇	八四・八〇	八四・八〇	八四・六〇
大新	後	八五・〇〇	…	…	…
朝紡	前	…	…	…	…
朝紡	後	九・五〇	…	…	…
中鐵	前	…	…	…	…
中鐵	後	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
拓新	後	…	…	…	…
安取	前	一九・八〇	一九・六〇	…	…
安取	後	一九・八〇	…	…	…

出來高

甲部計	百九十枚
累計	二十二萬六千七百六十枚
乙部計	不申
短期計	二萬五百三枚
累計	千六百四十枚
累計	五十九萬八千八百八十枚

短期算定日步

銘柄	算定	日步
京取	五一・五〇	逆・三〇
仁取	一三五・五〇	五五
同新	四七・五〇	二〇
朝紡	九・五〇	逆・五
中新	…	…

大阪株式

銘柄	十九日 前場寄付	十八日 後場大引
新東	・・・・	・・・・
安取	二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇
大新	八四・五〇	逆・五五

銘柄	十九日 前場寄付	十八日 後場大引
大株	一〇三・七〇	一〇二・六〇
同新	八五・五〇	八四・五〇
郵船	八一・六〇	八一・六〇
同新	二七・九〇	二七・九〇
商船	四〇・一〇	…
同新	九・四〇	…
鐘紡	二九四・九〇	…
同新	二七五・〇〇	二七・〇〇
東紡	一〇七・七〇	一〇七・一〇

銘柄	十九日 前場大引	十九日 後場寄付
大株	一〇三・九〇	一〇三・九〇
同新	八九・六〇	八五・三〇
郵船	・・・・	八二・四〇
同新	二七・九〇	二八・〇〇
商船	・・・・	・・・・
同新	・・・・	・・・・
鐘紡	二九九・〇〇	二九五・二〇
同新	二七五・九〇	二七五・五〇
東紡	一〇七・八〇	一〇七・八〇

大阪延取引

銘柄	寄付	大引
〇十九日前場		
大新	八四・七〇	八五・一〇
鐘新	二七二・五〇	二七四・〇〇
天取	・・・・	・・・・
〇十九日後場		
大新	八五・一〇	八四・四〇
鐘新	二七四・〇〇	二七三・〇〇
天取	・・・・	・・・・

安東株式

	寄付	大引
〇十八日後場　安取當先	一九・七〇	一九・八〇
〇十九日前場　安取當先	一九・六〇	一九・九〇

前場焦付
大新のみ昂騰

昨前場は祭典氣分に閑散乍らも多少の小緊を示して打止めた氣先今朝は大阪大新八十四圓七十錢の小高き報を入れたるも何等特種の材料なく西國の事情は依然低調を續け場面何となく氣重く大新が大阪高に六十錢方の昂騰を見せた外其他は何れも一二十錢方の動きを示した丈けで極めて氣乘薄く極度の閑散狀態に焦付大引した即ち京取は上下十錢の動きを見せて四十錢と保合仁取新十錢高安取十錢高大新は大阪高に六十錢高朝紡は九圓五十錢と變らず週間物は京取今週五十一圓六十錢來週三十一圓八十錢殖銀新十一圓十錢漢銀親三十八圓七十錢同新九圓ドタ京信親保合其他は無商內に引

株界小言

◆昨今の如く不氣乘閑散であることは內地に於ても近年稀れに見る所で而かも往々にして斯る場合にはあつても好況の長期であつた關係上其立直りにも相當の時日を要する事は云ふ迄もなく殊に其間中間に共景色が見へない

◆併し如何に閑散であり不氣乘であつても如何に閑散であり不氣乘が少くないと云ふ者もあるが一向は之れが陰極となつて陽發を見る事に共氣色が見へない

◆最近の閑散寂寥は以上の理由に加へて仕手が凋落して來た爲めである事も否めない仕手さへ付いたならば提灯も附き又た悲に對抗する者が出來て相當に値は動くのであるが昨今の如く高値買安値賣りの脫合以外之れと云ふ仕手がなくては値の動きが少ないのも止むを得ない

銀行株買はる

財界の不況は依然として持續し之れと目すべき好材料なきも株式界は既に底値百日の道程にあり相場は之れ以上の崩れはなかるべしと觀測せられ銀行會社株には金融逼迫に伴ふ貸物ある一面に於て値頃の買物徐々に出現の徴あり今朝も漢銀親八十枚同新四十枚の手合あり多少の注意を惹いた前場

後場賣買手口

▲京取短期、賣方、犬島、方翁、北村、有田、川崎、塚野、買方、池田(能く買ふ)橋下、中津留。南、田中、坂田組、▲仁取新短期、新田賣、田中、北村買▲大新短期、賣方、田中、白井(能く買ふ)

當分保合乎

昨日の米棉高が響いた爲か今朝の大阪大新は八十四圓七十錢の高報を入れたが其割入氣を刺戟せず京取の如き單に上下十錢の動きを見せた丈で保合に打止め相場は殆んど餌付の狀態である之れでは留買弱れからいれでも思惑の樹てられぬのが當然だつまり昨今の相場は下値は淋しいとせられても買つて利が乘るか否かが疑問であり買つて大に上がる見込がなければ賣るのが安全だが安い所は買つても買手がなく高値買と安値買が嫌戒せられて相場は保合圏內から離脫する事が出來ぬ賣買共に利得がなければ置つた所で徒らに資金を死藏する樣なものであるから動いて來るまで手を引いて傍觀するのが得策であると云ふ人がある一方には手出しをせず安値を賣つたり高値を買つたりして引かゝつて居る向が互に睨み合つて居るのが目下の狀態である昨今の如く之れと云ふ仕手もなく鞘も縮少して來ては鞘取りも妙味ないこんな有樣では此の閑散を打破し保合から離脫することは中々困難である從つて當分相場か保合ふものとすれば場面が閑散である丈に人氣も陰氣になり易いから急激なる低落はないとしてもチリ安歩調を辿るものと見る外は無い樣である

前場賣買手口

▲京取短期、賣方、犬島、北村、橋下、買方池田、金秀、洪般、▲金龍中村、取新、新田賣、方室、李龍、▲仁田中、有田、白梁買、中津留買▲安取留買▲大新、橋下、南買、北村、中津北村、中津留買

後場無氣力
依然焦付狀態

前場は閑散裡に保合ひ薄商內に打止めた氣先大阪大新前場引八十五圓十

優良株買物潛在

今後場の週間取引には珍らしくも手合出來せず頗る閑散狀態では相當あつだが銀行株には買瞇あり相當の物落在の模樣なるも買物更に乏なく右は久しき資和倍の揚句として有資家が確實なるものに弗々堀出し壁を始めたるものゝ如くにも觀られ些々多少注目すべき現象であつた後場

株　大阪株式取引所一般取引員　象龍太郎商店　大阪市東區北濱一丁目　電話本局　一八二一三六八　一八二一三六九　一八二三三七三　一八二二三七二
ゐにたえ經濟雜誌無代進呈
米　大阪堂島米穀取引所取引員　象忠次郎商店　大阪市北區堂島濱一丁目　電話北一三六二　一三七二　一二五

仁川期米
米況（十九日）

前場引返す

昨後場は阪地の仲惱みに買方の嫌氣投げや新規の賣物を招來して二十圓七十五錢と拔け八十錢と頭重く打止めたが今朝は阪地二十三圓九十九錢と十二丁高を入れたる爲め安値拾みの前物を呼び當中出來さりしも先二十一圓十五錢と二十八丁高に寄付

▲第二節　當出來ず大阪二節七十錢の安聲に中二圓六十錢と拔け先一圓〇九錢より二十圓九十錢と崩れ一錢と不勢に引

▲第三節　當出來ず大阪三節四圓〇九錢三節十八錢の報を入れて中忽ち九十錢と跳返し先十五錢より二十七錢と緻上げ四錢と手堅く引

▲第四節　當出來ず中九十錢先二十錢より六錢と押目待ちの買ひに引締りて引

▲第五節　當中出來ず大阪五節十錢の安移りに先二十錢より十錢と下澁ひ押目は又た強氣一派の買狙ひあり六錢と盛返して引

▲第六節　當出來ず中九十錢先十錢より二十五錢と跳返し二十錢と持合ひに大引せり

後場跳返す

▲第一節　當出來ざりしも前場戾足の機先大阪の後寄高を移して中二十三圓丁度先一圓四十四錢と二十四丁高に寄付

▲第二節　當出來ず先一圓五十五錢と一段高に始め四十八錢と押して引

▲第三節　中三圓丁度先一圓四十九錢より六十錢と堀ほり五十四錢引

▲第四節　中三圓丁度先一圓五十一錢より三錢と縮り四十七錢と押し五十一錢引

▲第五節　中三圓丁度先一圓五十一錢より五十五錢引

米界餘聞

昨十八日取引所で開かれた仁取株主總會は各件共原案通りに決定した尙各役員の總改選も滿場一致を以つて全部留任の事に贊成したが終りの協議會に入つて朝每の後藤社長より株主として仲買に對する手數料問題の件で若松社長に質問が始まり與味ある應答に滿場の視聽を惹いた▲次で仲買の支店設置問題に就いて再び後藤氏が起つて反對の理由を説明し續いて監查役の日氏も後藤氏と同感の意を漏らした▲最も此の問題は仁川府の盛衰に關すると云ふ處から目下市民の反對運動が始まりかけて居る際とて特に列席者の注目を惹いた果して此の問題が共丈仁川の繁榮を阻害すべき重大問題であるか否やは暫々に速斷を許さないが現在の俱樂部取次店が京城に設けられて以來仁川の下車客が著しく減少して來た▲況してや相場の波瀾で地場が儲ければ自地に共れ丈けの潤ひのある事は勿論で又た客筋が儲けたとしても其の一部分の金は仁川に落ちるので料理屋旅館及び雜貨店等は之れまで隨分賑ふたものだが▲茲二三ケ月の大相場にても百萬圓に近い取引が行はれて居條といふにも拘はらず其の大部分は京城の取次店勘定であるが爲めに川にはビター文の金も落ちない▲何等關係のない月給取りの眼から知らないがドウデモよいと輕く見へるかも察つて居る仁川の商人としては之れを重大問題として取扱ふのも決して無理とはいへない

硬軟共に浮腰

昨今は硬軟の歩調亂れ勝で阪地の下げ足が蔑へきらない處を見るといふ丈け米況れに頭が悶へて居るといふ丈けで相場の變動から云ふと弗々局面の轉換期に近づいて居るやうでもあるが亦一方の金融情態や四國の事情から速斷すると獨り米のみならず總ての物に對して茲二年は思惑をなすべき時代が來なからうから假令割安の感はあつても思惑買ひの起らぬ事は勿論今後新米の出廻り增加に伴ふて今一段の正米崩れは免れ難い様にも思はれる現に角値頭が値頃丈に見やうに依つては何れにでも理屈がつき易い昨今として互に浮腰狀態となつて居るを缺いて互に浮腰狀態となつて居る

因の熾烈買ひ

因を根據として中限に多額の買建を有する强氣一派は先限に對して傍觀の態度を採つて居たが阪地の形勢が頭重い間に拔けないのみか今朝は歩調一變再び廿四圓臺に跳返して來たので先限に買氣を催したか因より盛んに買進む爲め來客の總買りにも他愛のなかつた場面も急に廿一圓臺に乘せたので場面の模樣も多少新氣分が漂ふて來た樣できる

新米品質不良

弗々新米の出廻りが出廻つて來たが例年の走りと比較すると品質は惡い中には古米が交つて居る程米米が新米が殆どの出來ない程赤米が交つて居るが其れは八九月頃の再三の洪水で水浸りになつた其の爲めらしい何れにしても品質の上から察じると本年は餘り豐作を謳歌すべき年柄でないと或正米筋は語つて居た

賣買差引殘

一、七〇〇
二、三〇〇
二、一〇〇
九、八〇〇
一、九〇〇
一、一〇〇
一、八〇〇
二、一〇〇

	十九日前場	十九日後場
寄付	二一、一五	二一、四四
安値	二〇、九〇	二一、四四
高値	二一、二〇	二一、五五
前場公定値 / 後場公定値		
一節	二一、一五	二一、四四
二節	二一、〇三	二一、五一
三節	二一、二三	二一、五七
四節	二一、二四	二一、五〇
五節	二一、一一	二一、五四
六節	二一、一七	

賣買値段（當限 中限 先限）	二二、〇七　二一、九六
取組高（當限 中限 先限）	二一萬二千三百石　二萬二千三百石　一萬二千百石
出來高	十四萬二千九百石
累計	二二〇三〇〇石

京城穀物

正米現物

前日安模樣を見せたる地場正米は刈入れ農繁の時期にて眼先尚は出廻り薄を期待し手持筋は强じて見越しの買控へによりて原料蔗透の爲め敦何れも當用は泊はれ小口なから買進みの扱合ひもありて今朝は又復氣高模樣に轉じ三等合格丸キ二十六圓地摺玄米二十五圓神力二十四圓五十錢在來種二十四圓十錢一咋日同様の唱へに復し詳白も五十錢高の揚上品三十圓一杯を唱へつゝあり

前場十一月末限二一二〇　二五　三三四　▲十二月中限二一四五▲出來高五百石

仁川正米

古米三等合格は二十五圓四五十錢見當なるも品薄の爲め取引行はれず地摺新米は廿三圓五六十錢より上物二十四圓二三十錢處にて精米筋に弗々望み取られ合格新米は　二十六圓七十錢見當の唱へなり

釜山正米

內地期米保合にて市況見送り不勢の慶南北糧良二十六圓六十錢同神力二十六圓二十錢處にて一千五百叺の商內ありたり

大邱正米

十一月末限二十一圓十三錢より〇五錢十二月中限二十一圓五十錢より四十錢（十九日）

群山正米

晴　現物二十二圓八十錢十月末限二十二圓四十錢十一月中限二十二圓九十八錢同末限二十二圓十五錢十二月中限一圓三十錢出來高一萬千八百石

延　十一月中限二十三圓三十五錢より二十五錢十一月末限二十一圓八十錢より六十五錢十二月小限二圓（）大豆は保合の十四圓九十錢處にて四百叺の取組あり概して閑散狀態を辿り居れり（十九日）

仁川米豆取引所仲買人　松田慶之助　電話長六二番

仁川米豆取引所仲買人　力辻川仲買店　電話長六九、二二五、三四　受信略號（ニンセンカチラ）

仁川米豆取引所仲買人　北島仲買店　電話長三一八番、三六番　本店電話二七二、二七番

安東取引所仲買人　原田株式店　安東縣市場通　電話八七四、二四番　六四〇〇番

麗澤正次郎　仁川米豆取引所仲買人

東京期米

	十九日前場	十九日後場
先寄	二五、六〇	二六、〇〇
二節	七九	一九
三節	七〇	一〇
四節	七一	一〇
五節	五、八〇	五、八四
六節	…	六〇

大阪期米

	十九日前場	十九日後場
當寄	二四、三一	二四、九九
中寄	二四、四六	二四、七〇
先寄	二三、八六	二四、六五
止め	二四、三五	二四、六七
止め	二三、九九	二四、六七
二節	四、〇九	五一
三節	一八	四六
四節	一八	四七
五節	一〇〇	四五
六節	〇九	四六
七節	〇〇	…
八節	一〇	…
九節	二〇	…

兵庫期米

	十九日前場	十九日後場
寄付	二三、七六	二四、二六
止め	二四、一九	二四、一六
五節	…	四五
六節	二、〇〇	四六
七節	一〇九	…
八節	二〇〇	…
九節	…	…
十節	三一	…

下關期米

	十九日前場	十九日後場
寄付	止め	寄付
當限	…	…
中限	…	…
先限	三四、三五	三四、三六

各地期米

〇十八日後場止め

東京	二五、三九	大阪	二三、八七
兵庫	二三、六八	下關	二三、九五
桑名	二三、三四	名古屋	二三、五三
熊本	二三、六六	金澤	二三、四五

大阪三品

倫敦銀塊相場三十四片四分の一米棉十錢高

	十九日前場寄付	前場大引
十月限	二五二、四〇	二五二、四〇
十一月限	二五四、七〇	…
十二月限	二五四、七〇	二五五、七〇
一月限	二五四、九〇	二五六、七〇
二月限	二五六、〇〇	二五六、二〇
三月限	二五六、七〇	二五七、六〇
〇十九日後場		
十月限	二五二、一〇	
十一月限	二五五、七〇	
十二月限	二五六、七〇	
一月限	二五六、四〇	
二月限	二五五、六〇	
三月限	二五七、四〇	

演藝案內

黃金館　松竹キネマ直營　每日晝夜
〇當る十九日より三大映畫提供
▲喜劇　學校友達　二卷
〇メトロ社大作映畫　人情奇劇　嚴窟の奇緣　六卷
〇パートライデル氏主演　チヤールス、ゴッダード氏原作　〇ジョージ、アーヴング氏監督
〇アーロー社大連續映畫　第五篇。第六篇　猛鬪篇　青狐　四卷　公開
〇松竹蒲田先生原作　松竹キネマ社最近新撮影大映畫　松竹キネマ幹部俳優總出演
新派悲劇　不如歸　全十卷
（主要配役）
川島武夫…岩田祐吉　川島浪子…栗島すみ子　片岡中將…關根達發　千々岩安彦…野寺正一　山木兵造…花川環　乳母お幾…五月信子　加藤夫人満子…（普通料金）（每日晝夜）

大正館　日活直營　朝鮮活動寫眞株式會社　電話八七三
〇當る十八日より特別大提供
▲英國寶石テベット社　古き瓶に新しき酒　全五卷
▲正劇　女の道　米國ウワード社高級作品　全五卷
▲大活劇　暗中の手　〇石山日花主演　全五卷
▲新劇　忍術三勇士　全五卷
眞田家十勇士の双壁猿飛佐助霧隱才藏は主君の命を受け資金調達の爲め諸國を廻り居る中偶々伊賀の山中にて怪盜小太郎と山賊の親分となる
▲新劇　行く雲　松竹キネマ　栗島澄子主演　大觀鬪
▲松竹キネマ社作大東輪　全五卷

京龍座　電話龍山三一番
〇る秋の一日十五日より祭日晝夜二回　怪事件を生んだ？父の山中に出ゝれば此れは如何な

桃中軒入道一行　女優喜劇團
十月十九日初日　曾我廼家五九郎門下
〇每日晴雨論ぜず午後正六時開演

十九日より
問題の松竹
新派映畫
德富蘆花先生不朽の作
不如歸　全十卷
他社の絶對追從を許さざる傑作品
栗島すみ子、五月信子、岩田祐吉、關根達發、大力演
松竹キネマ
黃金館

喜樂館　日活直營　本町七丁目　電話二九〇七番
▲悲劇　其の夜の怨み　五卷
大火事の夜少女の行衞は知れなかつた、富豪の兩親は子を探したが遂に見つからなかつた、警察の手に娘を配れつた、それを恨んで其の娘を買つた男は非難の家でみた然るに姉をつけた二十年前に其の...
▲ロッキーのルス　米國パテー會社大作　ルーローランド孃主演　十九卷
▲活劇　京都派日活大活劇　猿飛佐助と霧隱　尾上松之助延一郎出演

浪花館　電話二六〇　明治町
〇當る十六日より御馴染の東京落語の家元落語舞踊の名人揃の圓一行

帝國館　帝キネ直營　中央館改め　電話本局三〇一四番
拾四日より
滑稽　かるた會　二卷
喜劇　秋の夜話　四卷
大活劇　サンライトの戰　五卷
新派　罪の跡　五卷
十五日十六日十七日は二回開演　入場料大人二十錢階上三十錢階下二十錢學生十錢

好評如沸　初日滿員　御禮
〇新派悲劇映畫
忽ち行く雲　五卷
外三大寫眞上場
大正館

人情落語　橘の圓　山村圓朝一派　花柳大團にて秘藝數々
〇現代珍藝社中　〇少年落語曲藝音曲　〇滑稽　〇落語
手踊かつぼれ

マーシャル印　▲カタログ進呈▼
高級靴下　新柄小供靴下　手編小供オーバ
德永貞吉商店　東京市日本橋區通町　振替東京四五八二七番

米　戰機熟す吾實彈の命中を見よ
實線に急御付
米華道人

外科・內科　皮膚花柳病科　エッキス光線及電氣科
院長　島崎龍一
島崎病院　京城府旭町二丁目四
電話病院本局三六一九番　院長本局三三番

（內科）（外科）岩田病院
附屬　沃度注射院
東京醫科大學・沃度研究所顧問
正五位勳三等功四級　岩田末彥
京城長谷川町（電話一六三）（內科院）

看護婦　派出
貸店
貸家
中古
古本
毛皮
株券
京日案內

高級防水　コスモス靴クリーム
防水性にして靴の革を強くし、優美の光澤を放ち、靴の耐久力を增す
全國到る處の靴店洋品店にあり
東京市本所區千歲町　本舖　新藤商店　電話本所二二五
朝鮮總代理店　大田皮革株式會社　京城武德町　同出張所

冬物各種品揃
メリヤス類
防寒用品
靴下類各種
中折帽子類
鳥打帽子類
學生用帽子類
お兒樣方用各種帽子
其他多數各種防寒用品種々取揃へ居ります
御注文は何品にても是非弊部へ御用命下さい
京城日報社代理部　京城大平通
振替京城三〇〇番　電話本局六二〇四番

印刷人　小泉三郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話長六千九番二九番　振替京城三〇〇番

懸賞當選小説

潮鳴る半島 (68)

馬場明作　鶴田吾郎畫

搖籃【四】

鐡一夫婦は、また次の手段を考へた。しかし、その手段を考へる前に、まづ兒童の家庭を研究することが、非常に必要なことであるのを、夫婦は氣がついた。

『子供が來ないと云ふのは、それは子供の罪ではない。きつと、その家庭に、罪があるのだから、それから先に、よく研究する必要がある。水の濁つてゐるのは、上流にその原因があるのだ』

と、鐡一は云つた。

『さうでしたね、私達は、ほんたうにそこへ氣がつかなかつたのですね』

と、玉惠も感じ深さうに云つた。

そこで、鐡一も時々農家の方を休んで兒童の家庭を訪問してみることにした。

兒童の家は、方々に散在してゐたが、殆どみんな農夫であつた。農夫と云つても、貧しい小作人ばかりであつた。

どれもこれも、四疊一間のやうな濕つぽい家で、まるで土穴の中に住んでゐる人間のやうであつた。土の床の上には、藁莚の眞黒に汚れたのが敷いてあつて、そこに、垢と埃にまみれよごれた赤ん坊が、幾つもころがつてゐた。

そしてかみさんは、いつもその赤ん坊を抛り出しておいて、あたりの小川へ出て洗濯ばかりしてゐる。それに鐡一の學校へ來るやうな子供は、どこの家にもいつも中にはゐなかつた。

たまには、家の主人がゐたり、かみさんがゐたりした。そこで鐡一夫婦は、子供の教育の必要などを話したりした。しかし、だれ一人として、そんなことに、興味をもつて聽くものはゐなかつた。丁寧に挨拶をしたり、子供に禮をくれたお禮などは云つたが、それより外のことは、どんな話をしても、一向に通じなかつた。

夫婦は、さびしい氣持になつて、夕方になると疲れて歸つて來た。

兒童の家庭の研究と云ふことも、かうして、つひに失敗に終つた。もつとも、教育などに經驗のない夫婦のことだから、家庭の研究と云つても、どう云ふ點を研究していゝのか、それがわからなかつた。夫婦の考へによると、兒童の家庭で、その主人なりその主婦が、兒童の教育と云ふことに、どんな心がけでゐるかを研究しやうと思つたのであるらしい。しかし、そんな研究が、全く意味をなしてゐなかつたと云ふことを、夫婦ははじめて知つた。

『あゝして僕等のところへ來る兒童の父母もやつぱりあゝして育つたのだから、そんなことは考へてゐないに違ひない。僕達の考へが、あまり淺薄だつたのだね』

と、鐡一は、歸て來ると云つた。

玉惠は、ほつと溜息をついてゐた。そして、

『どうしたら、三年四年と、つゞけて來るやうになりませうね。今まで二た月と、つゞいて、顏を見せたものがないのですもの……』

と、訴へるやうに云つた。

『さあ、どうしたら來るだらうね——それは僕等の子供の時だつてさうだつたからね。學校で面倒な先生の云ふことを聽いてゐるより、野つ原を飛んで廻つた方が面白いからね——人間は、その方がいゝのかも知れないね、つまらない學問や知識を授かるより、野生のまゝで、伸びて行つた方が、却て人間らしくなるのかも知れんぜ。僕達が、かうなんだか、人爲的な考へをして、教育などしようと思つてる方が、或は間違つてゐるんだと云ふ樣な氣がするね』

鐡一は、しまひには、こんなことを云ひ出した。

『だつて、私はさうとは考へませんわ……』

玉惠は、その時ばかりは、夫の意見に從はなかつた。

皮膚科 徽毒科 (診察夜九時迄) 皮膚病 徽毒 入院隨意 電話一七三參 京城明治町一丁目 佐藤醫院

花柳病 淋病 尿科專門 小山尿科醫院 京城黄金町二消防所前

京日文苑 (投稿歡迎)

短歌 題『秋』 尾上柴舟選
俳句 題『芋』 編輯局選
川柳 題『提灯』 劍花坊選
締切 十月廿五日(各題共)
賞金 天一圓半、地一圓、人半圓
注意 一題一人五句、各題別紙 用紙葉書、郵便住所氏名明記、京城日報社『京日文苑』宛
其他 各地會報歡迎

短歌　尾上柴舟選

課題『道』

◇中村翠雨(洪川)

さすらひの旅路の末に海見えてつゞく原野の道は遠しも

目もはるく見ゆる峠の細道をうねり上れる人の影見ゆ

◇土師初子(大田)

しらんと月の照く道を行く姉の姿のあざやかさかも

さよふかく月さえわたり白々と人の通らぬ道の寂さよ

◇長野幸子(新義州)

夕雲のゆきき寂しも洪水の後の河原の道にし立てば

たしかにも我行く道のさだまれば怒てふものを冷かに見る

◇高木朱鳥(京城)

かなしきは人間の道一筋のそのはてなさを眼つぶりおもふ

雄然と路上に凝たる鮮人ありて川沿の道は悲しかりけり

そのかみの道行きづりに逢見たるまるき面輪の消えがたきかな

たまさかに町に出づれば道を行く人の顔みなかつかしまれぬる

三等(賞金五十錢) 京城櫻井町一ノ一三六柴山方 栗田口秋水

帆柱に秋の風吹く港口道のはたてにさびしくし見ゆ

二等(賞金一圓) 京城旭町一ノ四七 三春文子

野の歸りふとふみたがへ籾乾せる農家の庭に道かりにけり

一等(賞金一圓五十錢) 京城南山町一ノ六森辰男方 小方柳生

畑道の雨に散りしく柿の花足裏冷く踏みて歸りぬ

川柳　井上劍花坊選

題『眼鏡』

○元山 笑月庵
父さんの眼鏡坊やの鼻を落ち
○京城 水蔭
演壇へ近眼が立つ女權論
○同 弘温坊
うつかりと眼鏡の儘で湯につかり
○鎭光 伯樂
伊達眼鏡上目づかひが癖に成り
○孟山 白裟坊
姿見の前で掛けたり外づしたり
○鎭光 與保
四つ目の几那ちよい御這入りやす
○鎭海 飛州生
老人は掛ける可からず色眼鏡
○京城 獨碎坊
鐵緣と鼈甲緣と合はぬなり
○永登浦 とめ子
また無心だらうと睨む眼鏡越
○京城 初陣
涌いて出る泪をかくす色眼鏡
○同 噴涙
伊達眼鏡上から眼玉ぐりつかせ
○馬山 十一助
金緣をかけて亭主を子守にし

天下一品 京城本町三 京染 畫にや

俳句　本社編輯局選

『百舌鳥』

○馬山 三石
物乾すや井戸端の木に鵙の鳴く
○京城 鶏城
鵙なくや炭竈煙る朝の山
○京城 楚南
ポプラ皆葉を拂ひ飛百舌鳥ト和
○鎭南浦 ○子
鵙鳴くや移民部落の昏れんとす
○南川 芳子
夕影馬に落ちて百舌鳥鳴く
○龍山 激水
大根抜く畑の背伸びや鵙の鳴く
○京城 豆之丞
幗草のむ師差や百舌鳥の天高し
○大阪 鶯峰
大楠の片枯枝や百舌鳥の鳴く
○仁川 鐵白
諫退けは倒に近し鵙の群
○仁川 雲山
足を病む留守居日向や鵙啼けり
○仁川 ヒロシ
百舌鳥なくや堤の上の大師堂
○京城 綾子
木隱れに百舌鳥鳴く森の夕陽哉
○鎭海 渦水
杜の陽の釣瓶落や百舌鳥湖る
○議政府 雲岳
鵙なくや夕日浴でたる丘の人
○京城 一遊
鵙鳴くや夕日に光る避雷針
百舌鳥鳴くや山から續く雜木原

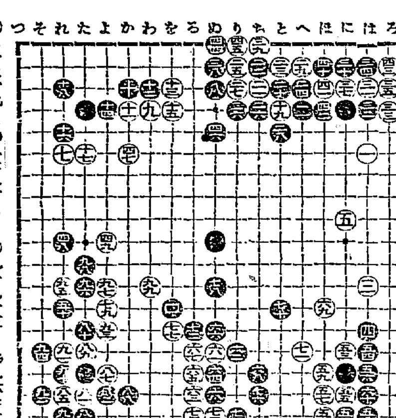
◇松の會吟社句會　山松の會吟社十月第二例會は市内並木町倉原藤城氏邸で催す豫定であつたのを變更し來る二十一日午後七時から龍山滿鐵社友會々場で開催することゝなつた會員の出席歡迎

新刊紹介

▲婦女新聞(第三百十一號)十一錢東京淀橋角筈其社▲高等普通學科講義錄(第十二號)會員配布京城古市町高等普通學會▲金の船(十一月)三十錢東京神田區猿樂町一キンノツノ社▲民衆公論(十月)二十五錢東京西巣鴨町其社▲柔道(十月)三十錢東京小石川區坂下町講道館文化▲新詩人(十月)四十錢東京小石川區白山御殿町抒情詩社▲少女界(十一月)三十錢東京神田區猿樂町一キンノツノ社▲病蟲害雜誌三十五錢東京小石川區原町日本植物愛護會

圍碁新局(五)

三段 梁木龍太郎(京城)　五子 加藤喜一(京城)



○八一 た十七　●八二 よ十七　○八三 よ十九　●八四 た十八　○八五 れ十七
●八六 れ十八　○八七 よ十六　●八八 か十七　○八九 た十五　●九〇 れ十六
○九一 れ十五　●九二 そ十七　○九三 よ十四　●九四 そ十五　○九五 れ十二
●九六 た十一　○九七 よ十一　●九八 た十一　○九九 わ十二　●一〇〇 十三

健胃固腸丸

下痢、腹痛 腸胃カタル 吐瀉を速に治す

常に服用せば消化を能くし、專ら腸胃を强健にし流行病惡疫に罹る憂なし 家庭にも旅行にも必ず御用意

藥價 廿錢 卅錢 五拾錢 壹圓 貳圓 參圓 五圓

本舗 大阪 東京 谷回春堂

登録商標 各地藥店に販賣す 商標ご名稱御注意

◎小兒には專門の小兒固腸丸あり

リベール

キヽメ早キ りん病藥

惡性用特製 五日分二円 十五日分五円
輕症用 五日分壹円 十日分二円
送料内地十二錢 海外四十五錢

大阪西區九條通四丁目 發賣元 九條藥局 製劑師 竹村幸次郎 振替大阪一八六八一番 電話西三三三三番 全國到處藥店ニアリ

HOKAPATTO. HOKAKONAOSHIROI. HOKAKURIMUOSHIROI.
HOKAEKI. HOKAOSHIROI. HOKAPATTO. HOKAPOMADO. HOKAONA. HOKAHABURASHI.
HOKAEKI. HOKABIHATSUEKI. HOKAPOMADO. HOKAPATTO.

肌の生地から美しくなる

ホーカー液

朝の一滴で——肌イキく艶を增し
夕の一滴で——キメ細かに美しくなる

「美」は女の生命

——二重に美しくする手輕な化粧法——

ホーカー液を塗けて、肌の生地から美しくなつた時の嬉しさ、その嬉しさが、又餘計貴女を美しく見せます

(小瓶二十八錢、中瓶五十八錢、大瓶一圓十五錢)

ホーカー白粉本舗 堀越嘉太郎商店 東京神田和泉橋際

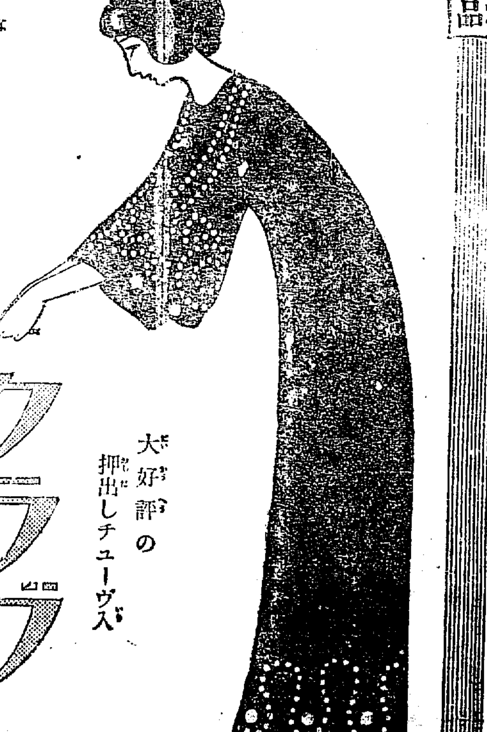
髭剃の順序　カテイ石鹸　安全剃刀　クラブ洗粉　クラブゼリー　クラブタルカン　眉目清秀

衛生生活の必需品

齒に有效 口に爽快

科學的に純良な

クラブ齒磨



クラブ齒磨のやうな理想の優良齒磨が日本で出來たのは日本の工業界の一大勝利であります。

大好評の押出しチューヴ入

クラブ煉齒磨